

開設科目名	カトリックの愛の精神 I	科目コード	BSNBG101	開設期	1 年前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	1 5 時間	授業区分	講義
責任者	井手信	担当者	井手信、井手三郎、寺浜亮司		
授業の概要 (授業の目的)					
建学の精神である「カトリックの愛の精神」に基づく看護は、すなわち、キリスト教の (カトリック) の人間観に基づく人間の尊厳を尊重する行為であり、全人的ケア/ケアリングである。生命の価値・人間の尊厳について学び、いのちの支援者としての本学の社会的使命についての理解を深める。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー (学位授与の方針) との関連		
1) 建学の精神についての理解を深める			1 生命の価値・人間の尊厳 2 豊かな人間性の基礎		
2) 人間の尊厳・自己の価値観について考えることができる			1 生命の価値・人間の尊厳 2 豊かな人間性の基礎		
3) ケア/ケアリングの本質について理解し、ケアリング行動をとることができる			1 生命の価値・人間の尊厳 2 豊かな人間性の基礎		
4) 人間の尊厳の尊重のための全人的ケアに関心を持つことができる			1 生命の価値・人間の尊厳 2 豊かな人間性の基礎		
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習 (学習課題)	取組時間
1	カトリックの愛の精神と創設者のこころ① 本学の建学の精神を知る	講義	井手 信	テキスト①を読んでおく	4 時間
2	カトリックの愛の精神と創立者のこころ② 本学の建学の精神と歴史を知る	講義	井手 三	テキスト①を読んでおく	4 時間
3	キリシタン時代の医療福祉	講義	井手 三	キリスト教の理念に基づく医療福祉事業のルーツを知る	4 時間
4	人間の尊厳・価値観について	講義	井手 信	人間の尊厳について・自己の価値観をまとめる	4 時間
5	病と苦しみへの共感・ケア/ケアリングについて① ケアリングの本質を学ぶ	講義	井手 信	テキスト②を読んでおく	4 時間
6	病と苦しみへの共感・ケア/ケアリングについて② 全人的ケアの実践を学ぶ	講義	井手 信	テキスト①、②を読んでおく	4 時間
7	いのちの支援者としての全人的ケア	講義	井手 信	臨床における全人的ケアの実際を知る (ゲストスピーカー)	4 時間
8	病と苦しみへの共感・苦しみのキリスト教的意味	講義	寺浜	霊的 (スピリチュアル) ケアの必要性を学ぶ	4 時間
成績評価方法・基準					
		授業外レポート 5 0 %、授業内レポート 5 0 %			
課題に対するフィードバック					
		提出された課題レポート、リアクションペーパーについては次回授業でコメントを伝えフィードバックする			
教科書					
		① 日本カトリック司教団 : いのちへのまなざし (増補新版) カトリック中央協議会 ② ミルトン・メイヤロフ: ケアの本質』 ゆみる出版			
参考書・参考文献					
		シスター・シモーヌ・ローチ: アクト・オブ・ケアリング ゆみる出版			
ワイアー 学習相談 メッセージ その他					
		オフィスアワー: 水曜日 16:30~17:30 連絡先: 2号館1階学院長室 メールアドレス: n-ide@stmaryacjp.onmicrosoft.com			

開設科目名	キリスト教概論 I	科目コード	BSNBG102	開設期	1 年前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	1 5 時間	授業区分	講義
責任者	牧山強美	担当者	牧山強美		
授業の概要 (授業の目的)					
<p>聖書を開き、キリスト教哲学や神学が提示してきたキリスト教の知的遺産にふれる。人類の普遍的関心事でありつづける「人間とは何か」の問いを中心に、神、イエス・キリストとは何ものかについても理性的かつ論理的な考察を試みる。また、生命の意味と価値、良心と真理、自由と法、善と悪などの基礎倫理的な諸概念を理解し、イエス・キリストの教える愛に倣って生きることが人間の幸福であり、完成であることを一緒に考えてみる。</p>					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 聖書をおとぎ話としてではなく、人間 (= 私) に対する指南書として開くことができる			1 生命の価値		
2) 自己と他者の違いと共通の傾向性について述べるができる			2 豊かな人間性の基礎		
3) 生命の意味と価値を認め、すべての人格を尊重すべきことを理解できる			11 多様な価値を尊重する姿勢		
4) 自己を犠牲にしてまでも苦しんでいる人々に援助の手をさしのべる愛の尊さを理解できる					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	「私」とは誰か 「私」についてよく知らない私を知る。 人格 (ペルソナ) の概念。	講義	牧山	授業後、他の多様な「人間観」についても検索し、それらの人間観の叙述の中に「私」を探してみる。	2 時間
2	「人間」とは何か 人間の特徴と共通の傾向性	講義	牧山		
3	「神」とは何ものか 神の存在と人間の存在の関係	講義	牧山	授業後、自分の (家の) 宗教の教えを調べてみる。 また、マルコ福音書を自分で開いて読みはじめる。	2 時間
4	「イエス・キリスト」とは何ものか イエスの教えとその生涯、苦しみと死	講義	牧山		
5	生命の意味と価値について 生物学的生命と人のいのち	講義	牧山	授業後、ふれられた基本的な諸概念について辞書等で調べてみる。	6 時間
6	良心と真理、自由と法について 善く正しく生きるための価値判断の諸基準	講義	牧山	提示された内容でレポートを作成する。	
7	人間の幸せと愛について キリスト教的幸福論と愛の教え	講義	牧山	講義のはじめにレポートを提出する。 提示された筆記試験問題について準備する。	4 時間
8	キリストの愛を看護の中で生きる 看護師として「働く」ことの意義と価値	講義	牧山		
成績評価方法・基準	① 筆記試験 70% ②レポート 30%				
課題に対するフィードバック	第 6 回までの授業と学習課題をふまえて、レポートを作成してください。レポートのテーマ詳細については第 6 回の授業終了までに提示します。レポートは第 7 回の授業のはじめに提出してください。第 8 回目の授業の中で筆記試験問題について言及します。また講義最終日に講義の総評や今後の学習アドバイスをいたします。				
教科書	聖書 新共同訳—旧約聖書続編つき—				
参考書・参考文献	特になし				
ワイアワ 学習相談 メッセージ その他	牧山強美 (非常勤) 質問等は、授業終了後、教室にて受け付けます。あるいは、筆記して提出してください。授業のおわりにリアクションペーパーを提出していただきます。率直な感想を聞かせてください。				

開設科目名	哲学	科目コード	BSNBG103	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	上野正二	担当者	上野正二		
授業の概要(授業の目的)					
<p>①<人間>と人間をそこに置いている者との<関係性>を学び、<価値そのもの>を学ぶことによって、<個別者>と<価値そのもの>とを<二重映しに見る>一種の世界観を学習する。</p> <p>②他者との関係性を拓くという<人間存在の本質要素>が何に基づいているのかを学ぶ</p>					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 私たちが自分の人生をかけて実現するに値する<幸福>とは何であるのかを考える意志を持つことができる				1 生命の価値・人間の尊厳 2 豊かな人間性の基礎	
2) NHKスペシャル「幸福学」など今日普及している「幸福学」の問題点を理解することができる。					
3) 人類の貴重な知的遺産として伝えられている西洋古典における<幸福論>を読解することができる					
4) これらの<幸福論>を現代的にバックアップする<哲学的思索方法>を理解することができる					
5) これまでに考えてきた<幸福論>を使って、ラディカルにケアリングを構想することができる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	<哲学>のカバーする領域について。情報論の基礎(ノート作製の注意点など)。	講義	上野	実際にこの回の講義をノートに整理してくこと	4時間
2	幸福論の現状について：<幸福学>と古典的幸福論の差異	講義	上野	「幸福学」および「古典幸福論」について整理する	4時間
3	「ソクラテスの弁明」、「エウテデモス」の読み方。 二種類の<学問のすすめ>について	講義	上野	両文献を読み、講義内容を確認すること	4時間
4	行為の意味(人間の居所)について：幸福論の鍵でありケア論の鍵であることから。アリストテレス「ニコマコス倫理学」、メイヤロフ「ケア論」	講義	上野	配布文書を読み、講義内容を確認すること	4時間
5	人間の認識構造について① 人間存在と存在付与者との関係	講義	上野	「素朴実在論」的世界観と現代物理学の世界観の違いを確認すること	4時間
6	人間の認識構造について② 人間存在と存在付与者との関係	講義	上野	自己の認識経験の最も素朴な事実の確認と、そこで浮かび上がってくる存在付与者の確認	4時間
7	<幸福論>のケア論への適用	講義	上野	いわゆる<メンタル・ケア>論における<幸福原理>の有効性を確認しておくこと	4時間
8	まとめ：本科目の全体を「授業概要」「学修の到達目標」と関連づけて整理する	講義	上野	この回の講義内容を整理しておくこと	4時間
成績評価方法・基準	レポート100% ※レポートのテーマは講義中に提示する				
課題に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の講義初めに前回のレジュメを行う ・最後の講義日に全体を振り返る 				
教科書	講義資料は、プリントを配布する				
参考書・参考文献	特になし				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	<p>上野正二(非常勤) shueno@kdt.ne.jp</p> <p>学習相談等に関しては、講義中に受け付けます</p>				

開設科目名	生命倫理 I	科目コード	BSNBG104	開設期	1 年前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	1 5 時間	授業区分	講義
責任者	青木清	担当者	青木清		
授業の概要 (授業の目的)					
現代は科学技術と医療技術の進歩が私たち人間の生存に対して、様々な問題を提示している。これらの問題に対して生命倫理の役割は大きい。本講義は生物医学の進歩によってもたらされる人間の生命に関する科学的知見を理解すると共に生命倫理の諸問題を考えることを目的とする。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1)生物医学の進歩によってもたらされる人間の生命に関する科学的知見を理解することができる			1 生命の価値・人間の尊厳		
2)生命倫理の諸問題を考えることができる。			2 豊かな人間性の基礎		
			11 多様な価値を尊重する姿勢		
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	生物進化とヒトの出現 DNA生物学	講義	青木	生物科学の遺伝学や発生学について、基本的なことを調べておく	4 時間
2	人間の尊厳とバイオエシックス クローン羊の誕生	講義	青木	日本国憲法の理解 ヒトクローン法について調べておく	4 時間
3	ヒトゲノム 再生医学 -ES 細胞と ips 細胞-	講義	青木	高齢化社会での再生医療 ips 細胞について	4 時間
4	脳死と臓器移植 医療における倫理	講義	青木	脳死臓器移植法について調べておく	4 時間
5	遺伝子をめぐる生命倫理 終末医療	講義	青木	尊厳死と安楽死について調べておく	4 時間
6	生命倫理の基本原則 人間の生存を考える	講義	青木	生命倫理の歴史について調べておく	4 時間
7	バイオテクノロジーと環境 環境倫理	講義	青木	地球環境倫理 ラウダシについて	4 時間
8	倫理に関する総括	講義	青木	生命倫理・医療倫理・研究倫理について	4 時間
成績評価方法・基準	①筆記試験 8 0 % ②レポート 2 0 %				
課題に対するフィードバック	講義最終日に講義の総評や今後の学習アドバイスを行う				
教科書	特になし				
参考書・参考文献	坂本・青木・山田編 「生命倫理」 北樹出版 木下圭・浅島誠 「新しい発生生物学」 講談社 2 0 0 3				
ワイアー 学習相談 メッセージ その他	青木 清 (非常勤) 授業終了後、教室で質問を受け付けます。または教務課 (kyoumu@st-mary.ac.jp) へ。 将来医療にかかわる人達にとっての大事な教養である。				

開設科目名	サービスマニエラ	科目コード	BSNMG105	開設期	1年前期・後期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	30時間	授業区分	講義・演習
責任者	井手信	担当者	井手信		
授業の概要(授業の目的)					
<p>「カトリックの愛の精神」に基づくコミュニティでの様々なボランティア活動を通して、ケア/ケアリングの要素である思いやりや信頼、奉仕(サービス)の精神を学ぶ。本科目は、また、個人の尊厳を守る行為、ケア/ケアリングをより専門的なレベルへと高める看護専門科目への関心を深める役割も持つ。</p> <p>*本科目は各自自主的にボランティアを実施したのち、各自の学びをプレゼンテーションによって他の学生と共有します。</p>					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) ボランティアを実践する			1. 生命の価値・人間の尊厳 2. 豊かな人間性の基礎		
2) コミュニティでの様々な人間関係、価値観に触れる					
3) 個人の尊厳を守る行為の意味を体感する					
4) 奉仕の精神を持ってケア/ケアリングを実践し、感謝、喜びを実感する					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ボランティアの精神 全体オリエンテーション	講義	井手 信	全体オリエンテーション	2時間
2	ボランティア活動	臨地		1) office365のボランティアの項をチェックすること 2) 活動希望場所毎のオリエンテーションに参加 3) 事務部登録(田上さんへ) 4) 活動開始 5) (大学用) 報告書作成—事務部へ	
3		臨地			
4		臨地			
5		臨地			
6		臨地			
7	中間報告会	演習	井手 信	グループ毎のまとめ・プレゼンテーション	2時間
8	ボランティア活動	臨地		6) 活動継続	
9		臨地			
10		臨地			
11		臨地			
12		臨地			
13		臨地			
14	最終活動報告まとめ	演習	井手 信	グループ毎のまとめ、パワーポイント作成	2時間
15	最終活動報告会	演習		グループ毎のプレゼンテーション	2時間
成績評価方法・基準	活動報告書50%、最終レポート50%				
課題に対するフィードバック	提出された課題レポートおよび中間、最終報告会におけるグループごとのプレゼンテーションについては即時コメントを伝え、フィードバックする。				
教科書	M/マグレーター他: ボランティアガイドブック 共感主義ボランティア入門 誠信書房				
参考書・参考文献	守本、河内、立石編: ボランティアのすすめ 基礎から実践まで ミネルバ書房				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	<p>オフィスアワー: 水曜日16:30~17:30 連絡先: 2号館2F 学院長室 (学生サポートスタッフは事務部 田上朝子さん) メールアドレス: n-ide@stmaryacjp.onmicrosoft.com</p> <p>*ボランティアは人としての喜び、感謝の念を持って実践する双方向の体験です。さあ、始めましょう!</p>				

開設科目名	芸術	科目コード	BSN BG106	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	平田孝子	担当者	平田孝子		
授業の概要(授業の目的)					
<p>本科目においては、人間と芸術の関わり、芸術の果たす役割について学ぶ。特に音楽を通して、いのちの躍動感や自己を表現する力を養い、学生自身の人間としての完成と想像力をより豊かなものにするを目的とする。</p>					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 各行事で歌われる歌や、心の糧となる聖歌を歌う。 2) クラシック音楽に興味を持ち、聴きかけを作る。 3) よりよく生きるために、ストレスを解消するきっかけを掴むことができる。 4) 人間にとってなぜ芸術が必要なのか、芸術を通して得られるものが何であるか理解する。				1 生命の価値・人間の尊厳 2 豊かな人間性の基礎	
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	①芸術とは何か ②歌 ③音楽鑑賞	講義	平田	復習: 歌の練習、各自の考える芸術についてのレポート作成	4時間
2	①音楽史概要 ②歌 ③音楽鑑賞	講義	平田	復習: 歌の練習、音楽史の中のテーマについてレポート作成	4時間
3	①雪の聖母聖堂見学 ②歌 ③ルカノ鑑賞	講義	平田	復習: 歌の練習、見学した感想のレポート作成	4時間
4	①見学後の学び ②歌 ③音楽鑑賞	講義	平田	復習: 歌の練習、芸術により感動することのレポート作成	4時間
5	①現代の聖歌 ②歌 ③DVD鑑賞	講義	平田	復習: 歌の練習、DVD鑑賞の感想レポート作成	4時間
6	①音楽療法 ②歌 ③音楽鑑賞	講義	平田	復習: 歌の練習、芸術の必要性についてのレポート作成	4時間
7	①クリスマスにまつわる芸術 ②歌 ③音楽鑑賞	講義	平田	復習: 歌の練習、クリスマス芸術についてのレポート作成	4時間
8	①人間の表現力 ②歌 ③DVD鑑賞	講義	平田	復習: 歌の練習、総合芸術についてのレポート作成	4時間
成績評価方法・基準	① 筆記試験 25% ② レポート 25% ③ 歌のテスト 25% ④ 授業態度 25%				
課題に対するフィードバック	・授業中に歌の復習、歌のテストで各自にコメント ・提出されたレポートに対しコメントを添付し返却を行う				
教科書	特になし				
参考書・参考文献	特になし				
オイスター 学習相談 メッセージ その他	平田孝子(非常勤) 質問、相談等には、授業終了後、教室にて受け付けます				

開設科目名	初年次ゼミナール I	科目コード	BSNBG107	開設期	1 年前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	3 0 時間	授業区分	講義・演習
責任者	秦朝子	担当者	秦朝子、近末清美、小浜さつき、石本祥子、谷口あけみ、赤坂天貴子、松野史		
授業の概要 (授業の目的)					
円滑に大学生活を始め、大学生活を豊かに、充実したものにする基礎を養う。最初に、学習の基本的スキルとしての講義の受け方やレポートの書き方などを学習する。その後、コミュニケーション力を養う基礎として、またアクティブラーニングとしてグループワークにおいて自己や他者の意見の相違を知り、プレゼンテーションを行う。最後に、医療職者としての自己像を描き、そのための大学生活についてイメージしていく。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 大学での講義の受け方、レポートの書き方、プレゼンテーションの方法を理解できる。				◎2.豊かな人間性の基礎 4.論理的・科学的問題発見力 6.コミュニケーションスキル 14.看護学発展への主体的探求姿勢	
2) コミュニケーションの基礎として、自己の意見を述べ、他者の考えを聴くことができる。					
3) アクティブラーニングの意義を知り、グループワークに参加することができる。					
4) 看護専門職として学ぶ意義を知ることができる。					
5) 大学生活でのスキルを習得し、将来像に基づいた大学生活をイメージすることができる。					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	オリエンテーション 大学での学びを考える 講義、スキルラボ、実習	講義	秦	大学生活を自分自身でイメージしてみる	1 時間
2	I スタディ・スキル ①講義の受け方・ノートの取り方	講義	秦	大学での講義の受け方、ノートの取り方について復習する	1 時間
3	②文章の読み方・まとめ方	講義	赤坂	本の読み方、内容を要約する方法を復習する	1 時間
4	③レポートの書き方	講義	小浜	レポートの書き方の復習をする	1 時間
5	④プレゼンテーション・スキル	講義	松野	プレゼンテーション・スキルを復習する	1 時間
6	⑤ディスカッション・スキル	講義	石本	ディスカッション・スキルを復習する	1 時間
7	II 対人関係スキル コミュニケーションスキル	GW 討論 発表		対人関係スキルとしてのコミュニケーションを復習する	1 時間
8	I・II 演習 ①他者の考えを知る、グループでテーマを決める	GW	谷口	事前に I・II の講義内容を復習しておく	1 時間
9	②テーマについて資料を調べる	演習	谷口	事前に検索方法を復習しておく	1 時間
10	③グループの意見をまとめる ④プレゼンテーションの準備	GW 討論	松野	プレゼンテーションの資料を準備する	1 時間
11	⑤プレゼンテーションの実際	発表	赤坂	プレゼンテーションの準備をする	1 時間
12		討論	秦	他のグループの発表を聞いて他者の考えを知る	1 時間
13	⑥レポートを書く	演習	小浜	レポートの書き方の課題をする	1 時間
14	III プロフェッショナル・スキル ①プロフェッショナルとは ②自身の健康を守る	講義	近末	自身の健康を守る行動を分析し、継続する	1 時間
15	③看護キャリアとキャリアデザイン	講義	近末	専門職業人としての自分の将来をデザインし、これからの大学生活についてイメージを描いてみる	1 時間
成績評価方法・基準	講義後のレポート 80% 授業参加度 20%				
課題に対するフィードバック	レポートは後日コメントと共に返却する				
教科書	特になし				
参考書・参考文献	前原澄子他 (2014) 看護学生のためのよくわかる大学での学び方 スタディ・スキル/キャリア・デザイン/プロフェッショナル・スキル. 金芳堂.				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	秦朝子 (7号館 4階 741 研究室) オフィスアワー: 水曜 12:10~13:00 上記時間帯以外に訪室したい場合は事前予約をしてください。メールアドレス: hata@stmaryacjp.onmicrosoft.com				

開設科目名	初年次ゼミナールⅡ	科目コード	BSN BG108	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	日高艶子	担当者	日高艶子、崎田マユミ、桃井雅子、中村和代、堤千代、鶴田明美、小浜さつき、他		

授業の概要(授業の目的)

本科目は1年前期に学修したキリスト教的人間観、カトリックの愛の精神、豊かな人間性の基礎を養うさまざまな分野の科目を基に、看護が対象とする人間、人間を取り巻く環境、そして環境と健康についてゼミ形式で学修し実践分野を学ぶための導入とする。

学修の到達目標	ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連
1. 子どもを取り巻く環境と健康について説明できる。	4. 論理的・科学的問題発見力、5. 問題解決判断力
2. 成人を取り巻く環境と健康について説明できる。	
3. 高齢者の健康と環境について説明できる。	
4. 母性の健康と環境について説明できる。	
5. 在宅で療養する人々を取り巻く環境と健康について説明できる。	
6. クリティカルケア領域、リハビリテーション看護領域の対象と治療環境を説明できる。特に対象の理解については、ロイ適応看護モデルの4つの適応様式に基づき検討する。	

授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	コースガイダンス(講義形式の説明)	講義	日高		1時間
2	到達目標1~6の課題について、グループ毎に、各担当教員の指示を受け、課題に取り組む。	討議 GW	各担当 教員	取り組む課題については、講義時間中に各担当教員から説明します。	2時間
3					2時間
4					2時間
5					2時間
6					2時間
7					2時間
8	まとめ	講義	日高		1時間

成績評価方法・基準	レポート80%、授業参加度(発言、課題への意欲)20%
課題に対するフィードバック	提出されたレポートについては、各担当教員が後日返却します。
教科書	各担当教員が指示します。
参考書・参考文献	特になし
ワイアラー 学習相談 メッセージ その他	日高艶子研究室(7号館3階、731) オフィスアワー: 金曜日 16:30-17:30

開設科目名	心理学	科目コード	BSNBG109	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	穴井千鶴	担当者	穴井千鶴		
授業の概要(授業の目的)					
<p>心理学では、人間のこころのはたらきを明らかにするために、外界の情報をどのように知覚し、それを記憶するか、またどのようにして学習し、行動を起こそうとするのか、そのメカニズムについての諸理論を科学的に学修する。さらに心の健康という側面から心のはたらきを理解し、看護への関連を認識することを目的とする。また、ロイモデルの人間理解として、「適応システムとしての人間」の概念と関連づけて理解することを目的とする。</p>					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 心理学の基本的な知識を学修し、理論やモデルを理解できる。			5 問題解決判断力		
2. 心理学の先行研究における実験的手法や調査方法を理解することができる。			4 論理的・科学的問題発見能力		
3. 臨床心理学の視点から、心の健康とストレス対処について理解することができる。			14 看護学発展への主体的探求姿勢		
4. 患者の心理について考えることができる			2 豊かな人間性の基礎		
5. 適応システムとしての人間について理解できる			1 生命の価値・人間の尊厳		
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	心理学の輪郭：心理学の調査・実験的手法	講義・講義内レポート	穴井	教科書 第1章の予習復習	2時間
2	人間は環境をどのようにとらえるか：感覚と知覚	講義	穴井	教科書 第2章の予習復習	4時間
3	経験のはたらき：学習、行動変容理論	講義	穴井	教科書 第3章の予習復習	4時間
4	人間の空間行動：対人距離・ヒューマンエラー	講義・講義内レポート	穴井	教科書 第4章の予習復習	4時間
5	自分らしさのなりたち：パーソナリティ・人間の発達理論	講義・講義内レポート	穴井	教科書 第5章の予習復習	4時間
6	こころの揺らぎと痛み：適応/葛藤・心の危機と対応	講義	穴井	教科書 第6章の予習復習	4時間
7	人とのかかわり：対人認知・人に影響を及ぼす態度	講義	穴井	教科書 第7章の予習復習	4時間
8	集団のなかでの私：集団形成・集団成員の役割	講義・グループディスカッション	穴井	教科書 第8章の予習復習	4時間
成績評価方法・基準	・講義内レポート 15% 態度 5% 定期試験 80% 合計得点 100点				
課題に対するフィードバック	課題は、授業中に集め、次回の講義でフィードバックする。				
教科書	生活にいかす心理学 Ver.2 古城和子【編著】 ナカニシヤ出版				
参考書・参考文献	必要に応じて講義内で紹介する				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	穴井千鶴(非常勤) オフィスアワー：講義終了後の一定時間を当てます。 学習相談：講義終了後の一定時間を当てます。 メッセージ：医療の現場に心理学がどのように役立つかを一緒に考えてみましょう。				

開設科目名	教育原論	科目コード	BSN BG110	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	高田熱美	担当者	高田熱美		

授業の概要(授業の目的)

本科目では教育の本質を理解し全人教育を唱えてきた思想家たちの教育目的や方法を学ぶ。看護技術のひとつに教育技術がある。教育とは教育されるものの中に「生育の可能性・陶冶性」を前提として、個人的な人間関係における意図的な働きであると理解した上で、対象者に関わることを学ぶ。

学修の到達目標	ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連
1) 教育という人間にとって普遍的な現象を「生成」という観点から理解できる。	2 豊かな人間性の基礎 4 論理的・科学的問題発見力 5 問題解決判断力
2) 「生成」とは、「生き」「育つ」「学ぶ」の3つであることを理解できる。	
3) 教育とは何であるか、説明できる	
4) 教育はいかにして為されるか、説明できる。	
5) 正しい教育とはいかなるものであるか、説明できる。	

授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)

回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	子どもの誕生	講義	高田	事前にテキストを読むこと(1章の1)	4時間
2	ヒトの子育て	講義	高田	事前にテキストを読むこと(1章の2)	4時間
3	教育の可能性	講義	高田	事前にテキストを読むこと(1章の3)	4時間
4	食の教育論	講義	高田	事前にテキストを読むこと(第二部の1章)	4時間
5	眠りの教育論	講義	高田	事前にテキストを読むこと(第二部の2章)	4時間
6	浴の教育論	講義	高田	事前にテキストを読むこと(第二部の3章)	4時間
7	花の教育論	講義	高田	事前にテキストを読むこと(第二部の4章)	4時間
8	まとめ	講義	高田	テキストとノートをもう一度読んでおく	4時間

成績評価方法・基準	①筆記試験85% ②受講態度15%
-----------	-------------------

課題に対するフィードバック	前回の課題について、授業の時に指名し、口頭発表を求めることがある
---------------	----------------------------------

教科書	高田熱美 『教育の生成』 学術図書出版社 2010年
-----	----------------------------

参考書・参考文献	参考書：中野桂子『ラッセル幼児教育学研究』 中川書店 2016年
----------	----------------------------------

オフィス学習相談 メッセージ その他	高田熱美(非常勤) 授業終了後に教室で質問を受け付けます 私語をせず、静かに聴講すること。そうすれば理解が進みます。
--------------------------	---

開設科目名	情報リテラシー	科目コード	BSNBG111	開設期	1年前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	講義・演習
責任者	井手悠一郎	担当者	井手悠一郎、橋口ちどり、石本祥子、川口淳		
授業の概要（授業の目的）					
<p>情報化社会の現代において、世の中には数えきれないほどの情報が渦巻くようになり、日常生活や業務を行う上で情報収集が欠かせないものとなっている。しかし、SNS の普及などにより、誤った情報を用いたり不適切な取扱いを行ったりすることで、取り返しのつかない事態になることも懸念されている。</p> <p>本講義では、パソコンの基本操作を通じて情報収集の方法について学修するとともに、情報の適切な取扱い方（SNS の適切な使用方法、学外や病院外における患者情報の管理方法など）について学び、医療職者として生きていく上で必要な知識・技術・正しい倫理観を身につけることを目的とする。</p>					
学修の到達目標				ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連	
1) 情報機器の基本的な操作ができる。				7 情報リテラシー	
2) 必要な文献・図書の情報を収集することができる。				7 情報リテラシー	
3) 情報を運用する上での正しい倫理観を身につける。				5 問題解決判断力	
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習（学習課題）	取組時間
1	Office365、Office Lens の使用方法	実技	井手	M pass を読んでおく、配布資料の復習	4 時間
2	WebClass の使用方法	実技	井手	M pass を読んでおく、配布資料の復習	2 時間
3	医療 AI	講義	川口	配布資料の復習	2 時間
4	情報倫理①（SNS のモラル、時事問題等）	講義	七條	配布資料の復習	2 時間
5	情報倫理②（実習に行く前の基礎知識）	講義	石本	配布資料の復習	2 時間
6	医療現場での情報の取扱い	講義	橋口	配布資料の復習	2 時間
7	演習	GW	井手	配布資料の復習、新聞やネットで関連情報を収集	8 時間
8	発表	発表	井手	深く考え、建設的かつ分かりやすく発表できるようにする	8 時間
成績評価方法・基準	①発表 40% ②レポート 60%（提出は WebClass（基礎分野（全学年））に行ってください。）				
課題に対するフィードバック	発表は配布する評価基準により評価を行います。 レポートは採点結果を WebClass で確認することができます。				
教科書	指定なし				
参考書・参考文献	M pass（聖マリア学院大学） 文献検索ガイド（聖マリア学院大学図書館）				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	<p>※情報倫理教育の強化及び継続の参考資料とするため、講義中にアンケートを実施することがあります。 講義内で実施するアンケートは、成績評価には一切関係しません。</p> <p>連絡先 井手悠一郎（6号館2階 井手悠一郎研究室）／オフィスアワー：火曜 16：00～17：00 ※上記時間帯以外に訪問したい場合は事前予約をしてください。</p> <p>メール等での質問も可です。（アドレスについては Office 365 を参照してください） 清水康彦（2号館2階 事務室）／オフィスアワー：月曜 15：00～17：00 ※オフィスアワーでも不在にする場合がありますので、訪問の際は事前にご連絡ください。</p> <p>メールでの質問も受け付けます。（アドレスについては Office 365 を参照してください） また、外部講師への質問の取り次や Office365 や WebClass への質問はこちらにお願いします。</p> <p>ICT の活用：レポートの提出は、WebClass（基礎分野（全学年））へ提出してください（提出可能形式：.doc、.pdf のみ） また提出してもらった小レポートは、今年度以降もコースに残す予定です。授業終了後も必要に応じ、提出物の参照等をおこなってください。</p>				

開設科目名	情報機器の操作	科目コード	BSNBG112	開設期	1年前期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	赤須大典	担当者	赤須大典		
授業の概要(授業の目的)					
<p>情報社会の進展に伴い、多くの分野で情報機器を使うことが一般化しており、基礎的な情報活用能力を身につけることが不可欠である。情報機器を使う基本的な能力、情報を有効に活用する知識と倫理観、情報活用能力を習得して、これらを医療の分野へ応用するための素養を身に付ける。</p>					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 情報機器を使う基本的な操作ができる。				4 論理的・科学的問題発見力	
2) 情報を有効に活用する知識や考え方、心構え、態度などの倫理観を理解することができる。				5 問題解決判断力	
3) 情報機器を使い「情報の表現、加工、交換する情報活用能力」を活用できる。				7 情報リテラシー	
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	情報化社会に必要な知識と倫理観 (情報化社会の現状、脅威、セキュリティ、著作権、個人情報保護法など)	講義	赤須	事前に教科書を読んでおくこと 講義内容の復習	4時間
2	情報機器全般に関する基本的事項 (情報機器の基礎知識、ファイルの保存など)	講義	赤須	講義内容を復習し、実際に操作する	4時間
3	Wordを使用してレポートの作成 (レポート作成の基本機能、図の挿入編集、表記など)	講義	赤須	講義内容の復習	4時間
4	実際の業務を想定したレポートを作成	講義	赤須	講義内容の復習	4時間
5	Excelを使用して表計算やデータ集計資料作成 (関数、ワークシート、書式、グラフ、データベースなど)	講義	赤須	講義内容の復習及び実際に操作してみる	4時間
6	実際の業務を想定した表計算やデータ集計資料を作成	講義	赤須	講義内容の復習及び実際に操作してみる	4時間
7	PowerPointを使用してプレゼンテーション資料作成 (内容作成・編集、構成、デザインなど)	講義	赤須	講義内容の復習	4時間
8	実際の業務を想定したプレゼンテーション資料を作成	講義	赤須	講義内容の復習	4時間
成績評価方法・基準	①課題80% ②態度20%				
課題に対するフィードバック	上記課題については、講義中、または後日返却します。				
教科書	『学生に役立つWord & Excel & PowerPoint』FOM出版				
参考書・参考文献	特になし				
ワイアラー 学習相談 メッセージ その他	赤須 大典 (非常勤) 教務課メールアドレスへ連絡、直接メールで受付。 t209akasud@std.mii.kurume-u.ac.jp 欠席すると授業についていけなくなる可能性があるので注意すること				

開設科目名	生物学	科目コード	BSNBG113	開設期	1年前期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	芋川浩	担当者	芋川浩		
授業の概要(授業の目的)					
健全な生命観、地球生態系に生きる基本的態度を学ぶ。生物学の役割を考える。動物の行動原理や生得的行動型、学習と遺伝とを理解したのち、人体の構造の歴史性から体の不都合や病気について考える。また、社会に生きるヒトの適応の生物学を学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1)生命の基本単位である細胞とその機能について理解することができる。			4 論理的・科学的問題発見力 5 問題解決判断力		
2)生物体の誕生と、ヒトのからだの構造とその機能について理解することができる。					
3)からだを守る免疫反応について理解することができる。					
4)中枢神経系の構成とその機能などについて理解することができる。					
5)がんをはじめとした病気や疾患などについて理解することができる。					
4)ヒトの高次機能など生命の神秘などについて発見・理解することができる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	オリエンテーションとして、①これからの講義内容、②成績評価方法、③教科書や参考文献の紹介、④出席や質問の取り方などを説明し、今後の講義にスムーズ入れるようにする。 初回の講義内容としては、①生命とは何か、②細胞とは何かなどについて学習する。	講義	芋川	生命とは何か、細胞とは何かを教科書の p.8~p.22 を読み、予習すること。 初回の講義(生命や細胞)についての講義内容およびその質問や問題点を各自で確認・整理する。もし各自で質問や問題点等を解決できないときは、次の講義などで質問できるようにまとめておく。	4時間
2	生命の誕生の基本として、受精のメカニズムやそこにある神秘について解説する。	講義	芋川	一合体としての生命誕生の瞬間について教科書の p.41~p.47 を読み、予習すること。 小テストの復習に加え、生命誕生等についての講義内容およびその質問や問題点を各自で確認・整理する。もし各自で質問や問題点等を解決できないときは、次の講義などで質問できるようにまとめておく。	4時間
3	からだの構造を理解する基本として、からだづくりやその発生現象について解説する。	講義	芋川	発生現象について教科書の p.48~p.56 を読み、予習すること。 小テストの復習に加え、発生過程・発生現象等についての講義内容およびその質問や問題点を各自で確認・整理する。もし各自で質問や問題点等を解決できないときは、次の講義などで質問できるようにまとめておく。	4時間
4	からだの構造をさらに深く理解することを目的として、からだづくりの知られざる神秘について解説する。	講義	芋川	からだづくりの神秘に関する教科書の p.57~p.75 を読み、予習すること。 小テストの復習に加え、からだづくりの神秘・ホメオボックス遺伝子などについての講義内容およびその質問や問題点を各自で確認・整理する。もし各自で質問や問題点等を解決できないときは、次の講義などで質問できるようにまとめておく。	4時間
5	ヒトのからだを守る生体防御機構である免疫反応について解説する。	講義	芋川	生体防御機構としての免疫反応に関する教科書の p.76~p.87 を読み、予習すること。 小テストの復習に加え、生体防御機構としての免疫反応についての講義内容およびその質問や問題点を各自で確認・整理する。もし各自で質問や問題点等を解決できないときは、次の講義などで質問できるようにまとめておく。	4時間
6	がんとは何か?について、がん遺伝子や発がんのメカニズムなどを中心に解説する。	講義	芋川	がんに関する教科書の p.88~p.105 を読み、予習すること。 小テストの復習に加え、がん遺伝子や発がんのメカニズムなどについての講義内容およびその質問や問題点を各自で確認・整理する。もし各自で質問や問題点等を解決できないときは、次の講義などで質問できるようにまとめておく。	4時間

7	ヒトの中枢神経系の構成とその機能などについて解説する	講義	芋川	神経系に関する教科書の p.108~p.120 を読み、予習すること。 小テストの復習に加え、ヒトの中枢神経系の構成とその機能などについての講義内容およびその質問や問題点を各自で確認・整理する。もし各自で質問や問題点を解決できないときは、次の講義などで質問できるようにまとめておく。	4 時間
8	ヒトはどうして老化するのか？また、ヒトはどうして死んでいくのか？という老化と寿命について解説する。さらに、最後の講義であるため、これまでの講義のまとめなど総復習も行う。	講義	芋川	老化と寿命などに関する教科書の p.122~p.135 を読み、予習すること。 小テストの復習に加え、老化と寿命などについての講義内容およびその質問や問題点を各自で確認・整理する。もし各自で質問や問題点を解決できないときは、講義以外の時間でも質問できるようにまとめておく。	4 時間
成績評価方法・基準		① 筆記試験 70% ②小テスト 10% ③授業への参加度(質疑応答も含む) 20%			
課題に対するフィードバック		<ul style="list-style-type: none"> ・次の講義の初めに前回の学習課題の小テストを行い、講義内に小テストの解答解説を行う。講義中に、小テストや前回の学習についての質疑応答を行い、学習の理解の成果として、次の講義等でフィードバックされる。 ・講義最終日に講義の総評や今後の学習アドバイスを行う。 			
教科書		ライフサイエンス 生命の神秘 (芋川 浩著、木星舎出版)			
参考書・参考文献		<ul style="list-style-type: none"> ・講義資料：パワーポイントによる講義プリントを各講義前に配布予定(パワーポイントによる講義プリントは芋川浩作成) ・参考文献：細胞の分子生物学 第6版 (Newton Press) 			
オンライン学習相談 メッセージ その他		芋川 浩 (非常勤) imokawa@fukuoka-pu.ac.jp <ul style="list-style-type: none"> ・質問等は随時受け付ける。また、携帯電話による出席システムにある質問コーナーへの入力および上記 e メールでも対応する。 ・講義への参加度などを重視するため、携帯電話等で出席や質問などをとることがあるので、履修条件としては、携帯電話等を持っていることが必要である。 ・自然や動植物、生命現象等に常に興味をもち、いつも「なぜ?」「どうして?」という疑問をもつ気持ちを絶えず持ちながら、生命の神秘不思議を感じ取ってみよう! 			

開設科目名	化学	科目コード	BSNBG114	開設期	1年前期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義、実験、演習
責任者	井手悠一郎	担当者	井手悠一郎		
授業の概要(授業の目的)					
<p>教育基本法において定められるように大学においては専門能力とともに高い教養を身につけることが目的とされている(第七条)。この教養とは文部科学省の中央教育審議会の答申に示される通り、所謂「文化(カルチャー)」ではなくリベラル・アーツ(職業から自由な技法)を指している。日本におけるリベラル・アーツの1つである「化学の思考」を修得することは今後の変化の著しい時代において各人が自らにふさわしい生き方を見出すための技法の1つを修得だけではなく、この先、学習することとなる生化学や薬理学、解剖生理学等の基礎を修得することにもつながる。</p>					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 化学的思考法の基礎を身につける			4. 論理的・科学的問題発見力◎		
2. インターネットや図書より必要な文献・情報を収集し、利用することができる			7. 情報リテラシー		
3. 社会において問題とされる事象について考え、解決に向けた方策を考えることができる			5. 問題解決判断力◎		
4. 提示されたテーマについて、メンバーと協働して意欲を持って取り組むことができる			12. 他職種協調、リーダーシップ		
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	DNAとタンパク質	講義	井手	講義内容の復習、関連内容についての学習	4時間
2	遺伝子組換え技術	講義	井手	講義内容の復習、関連内容についての学習	4時間
3	DNA抽出技術	個人ワーク	井手	与えられたテーマについての情報収集、分析活動	4時間
4	DNA抽出実験(231教室)	実験	井手	実験内容の復習、関連内容についての学習 (各自飲用可能な水を持参してください)	4時間
5	遺伝子工学における諸問題	講義 GW	井手	与えられたテーマについての情報収集、分析活動、発表資料の作成	4時間
6	グループワーク	GW	井手	与えられたテーマについての情報収集、分析活動、発表資料の作成	4時間
7	発表①(PC室)	発表	井手	他グループの発表内容の評価、関連内容についての学習	3時間
8	発表②(PC室)	発表	井手	他グループの発表内容の評価、関連内容についての学習	3時間
成績評価方法・基準	①小レポート(第1、2回)20% ②実験レポート(第3、4回)30% ③グループワークの取組み(第5、6回)20% ④プレゼンテーション(第7、8回)30% ※評価の基準については初回授業に配布する資料を参照してください。				
課題に対するフィードバック	各レポートは採点の上、返却する。 発表についての講評は、発表終了後に行います。				
教科書	指定なし				
参考書・参考文献	文献検索ガイド(聖マリア学院大学図書館) 上記のほか適宜参考文献を紹介します。				
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他	井手悠一郎(6号館2階 井手悠一郎研究室)、オフィスアワー:火曜16:00~17:00 ※重複をさけるため、事前に予約をすること。また上記時間帯以外に訪問したい場合は事前予約をすること、メール等での質問も可(アドレスはOffice 365を参照してください) ICT活用:GWにおける相互評価、発表ファイルの提出はWebClass上で行います。 *GWにおける相互評価を未実施の場合は減点対象となります。				

開設科目名	体育理論	科目コード	BSN BG115	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	堀田 亮	担当者	堀田 亮		
授業の概要(授業の目的)					
健康的な生活を送るために必要な運動・スポーツに関する知識を得ることを目的とする。心身の健康づくりに果たす運動・スポーツの役割を理解し、生涯スポーツの観点から、子ども・高齢者・女性・障害者等、様々な対象に合わせた運動・スポーツの実施方法について学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1)運動・スポーツと身体的・精神的・社会的健康の関連について理解できる。			2 豊かな人間性の基礎 4 論理的・科学的問題発見力		
2)年齢や性別など対象の特徴に合わせた運動・スポーツ活動について理解できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	健康とは何か 自分の健康について考えてみよう	講義	藤原	課題レポート①「健康度・生活習慣診断検査」の結果をもとにレポートを作成する。	4時間
2	運動・スポーツと身体的健康 体力、生活習慣病予防	講義	藤原	課題レポート②「身体活動のセルフモニタリング」の結果をもとにレポートを作成する。	4時間
3	運動・スポーツと精神的健康 メンタルヘルス、ストレス	講義	藤原	課題レポート③「精神的健康パターン」の結果をもとにレポートを作成する。	4時間
4	運動・スポーツと社会的健康 社会的スキル、ライフスキル	講義	藤原	配布資料の復習	4時間
5	子どもと運動・スポーツ 発育発達	講義	藤原	配布資料の復習	4時間
6	高齢者と運動・スポーツ 老化、健康寿命	講義	藤原	配布資料の復習	4時間
7	スポーツとジェンダー スポーツ障害トライアングル	講義	藤原	配布資料の復習	4時間
8	アダプテッドスポーツ 障害者スポーツの紹介	講義	藤原	配布資料の復習	4時間
成績評価方法・基準	①期末試験 50% ②授業外レポート 35% ③授業内レポート 15%				
課題に対するフィードバック	提出されたレポートは講義中、または後日返却します。				
教科書	特になし				
参考書・参考文献	九州大学健康科学センター(編) 健康・運動・スポーツの科学 大修館書店 2008 秋峯良二・城戸親男・美山恭教(編) 快適な身体環境を求めて ナカニシヤ出版 2003				
オフィスワーク 学習相談 メッセージ	堀田 亮(非常勤) 授業終了後、教室で質問を受け付けます。または hottaryo@kjc.kindai.ac.jp へ。 その他：体育理論は通常は1年前期科目ですが、令和2年度は後期に開講します。				

開設科目名	体育実技	科目コード	BSNGB116	開設期	1年通年
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	30時間	授業区分	実技
責任者	甲木秀典	担当者	堀田亮、甲木秀典		
授業の概要(授業の目的)					
この授業では、自己の健康や体力についての理解を深め、生涯にわたって健康的なライフスタイルを構築するために必要な態度を養うことを目的とする。運動・スポーツの実践を通して、楽しんでからだを動かすために必要なスポーツの基本スキルとコミュニケーション力を身につける。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) スポーツを楽しむために必要となる基本スキルを身につける。			2. 豊かな人間性の基礎 4. 論理的・科学的問題発見力		
2) チーム内でコミュニケーションを取り、メンバーと協働することができる					
3) 自己の健康・体力の現状を把握し、健康的なライフスタイル構築の重要性を理解できる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	オリエンテーション・コミュニケーションゲーム	実技	甲木	シラバスを確認し授業内容を整理する	1時間
2	ストレッチとリラクゼーション	実技	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
3	ウォーキングとジョギング	実技	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
4	ストレッチと筋力トレーニング	実技	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
5	バドミントン	実技	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
6	バドミントン	実技	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
7	バスケットボール	実技	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
8	バスケットボール	実技	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
9	卓球	実技	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
10	卓球	実技	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
11	バレーボール	実技	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
12	バレーボール	実技	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
13	フットサル	実技	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
14	フットサル	実技	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
15	選択種目(授業内容から自由選択)	実技	甲木	授業に関する資料を収集し整理する	1時間
成績評価方法・基準	①授業への取り組み姿勢(授業時間の厳守、適した服装とシューズの着用、ゲームの参加態度など)70% ②授業内レポート30%				
課題に対するフィードバック	授業内レポート:授業終了後に回収し、次回授業開始時に返却する				
教科書	特になし(配布資料あり)				
参考書・参考文献	特になし				
ワイアー 学習相談 メッセージ その他	堀田 亮(非常勤) 甲木 秀典(非常勤) 授業終了後、質問を受け付けます。または katsukihi@nisikyu-u.ac.jp ・運動着・体育館シューズを準備すること ・飲み物、タオルを準備すること				

開設科目名	人間と法(日本国憲法)	科目コード	BSNBG117	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	2単位(選択)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	上村一則	担当者	上村一則		
授業の概要(授業の目的)					
<p>本講義では、憲法に関する社会問題を掘り下げて、憲法の仕組みを明らかにする。これを通じて、憲法の基本原理である基本的な人権の尊重、平和主義、国民主権が私たちの生活に具体的にどのように実現されているか、あるいは、どのような問題を残しているかを、自らの問題として身近に考え、責任ある市民として行動できるようになることを目的とする。また、判例など具体的紛争事例を研究題材として取り上げながら、法学の基礎的知識を習得し、法が実際の社会においてどのように機能しているかについて理解を深める。</p>					
学修の到達目標				DP(学位授与の方針)との関連	
1 近代法は、個別具体的な問題について自らよく考え判断し自己決定できる人間像を前提にすることを理解できる。				1 生命の価値・人間の尊厳 2 豊かな人間性の基礎 4 論理的・科学的問題発見力	
2 憲法の基本的な価値観が、そのような人間の自己決定権にあることを理解できる。					
3 憲法との関係で身近な法律の大まかな仕組みを理解し、自己決定権との関係で、全体を説明できる。					
4 人権に関する身近な具体的諸事例を適切に分析し、法を当てはめることができる。					
5 実際に裁判で争われた人権に関する事例を、自分の問題としてとらえて、考察し議論することができる。					
6 人権とその制約原理を理解し、説明することができる。					
7 国家の統治機関の基本的な原理を理解し、機関相互の関係を適切に説明することができる。					
8 日頃のニュースに目を向け、人権に関する社会問題に興味をもち、憲法の知識を自らの身近な問題に応用できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	国家と社会、日本国憲法と自己決定権	講義	上村	予習: 配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習: 毎回分の「まとめの択一問題」を解いておく	4時間
2	国家と犯罪・刑罰	講義	上村	予習: 配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習: 毎回分の「まとめの択一問題」を解いておく	4時間
3	憲法31条と刑事裁判	講義	上村	予習: 配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習: 毎回分の「まとめの択一問題」を解いておく	4時間
4	自己決定権と安楽死の諸事例	講義	上村	予習: 配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習: 毎回分の「まとめの択一問題」を解いておく	4時間
5	国家と市民生活	講義	上村	予習: 配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習: 毎回分の「まとめの択一問題」を解いておく	4時間
6	憲法29条と民事裁判	講義	上村	予習: 配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習: 毎回分の「まとめの択一問題」を解いておく	4時間
7	自己決定権と未成年者の人権・保護	講義	上村	予習: 配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習: 毎回分の「まとめの択一問題」を解いておく	4時間
8	自己決定権と消費者保護	講義	上村	予習: 配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習: 毎回分の「まとめの択一問題」を解いておく	4時間
9	天皇と平和主義	講義	上村	予習: 配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習: 毎回分の「まとめの択一問題」を解いておく	4時間
10	三権分立と統治機関、議院内閣制の特質と違憲立法審査権	講義	上村	予習: 配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習: 毎回分の「まとめの択一問題」を解いておく	4時間
11	基本的な人権とその制約原理、新しい人権(憲法13条)	講義	上村	予習: 配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習: 毎回分の「まとめの択一問題」を解いておく	4時間
12	精神的自由権・経済的自由権とその制約	講義	上村	予習: 配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習: 毎回分の「まとめの択一問題」を解いておく	4時間
13	生存権・教育権とその制約	講義	上村	予習: 配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習: 毎回分の「まとめの択一問題」を解いておく	4時間
14	自己決定権と納得診療・QOLの諸問題	講義	上村	予習: 配布されたレジュメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習: 毎回分の「まとめの択一問題」を解いておく	4時間

15	宗教的理由による輸血拒否事件の検討	講義	上村	予習：配布されたレジメと教科書の該当箇所を読んでおく 復習：毎回分の「まとめの択一問題」を解いておく	4時間
成績評価方法・基準	筆記試験の結果（95%、このうち課題レポート・小テストを実施した場合はその結果を25%）に受講態度（5%）を加味して総合的に判断します。				
課題に対するフィードバック	毎回「まとめの択一テスト」については、次回答え合わせを行います。				
教科書	松井茂記・松宮孝明・曾野裕夫著『はじめての法律学—HとJの物語』（有斐閣アルマ）				
参考書・参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・初宿正典他著『いちばんやさしい憲法入門 第4版』（有斐閣アルマ） ・なお、テキストとは別に、毎回詳細なレジメを準備します。特に、憲法に関して最近のニュースなども含めて、レジメで詳細に説明します。 				
オンライン 学習相談 メッセージ その他	<p>上村一則（非常勤） uemura_kazunori@kurume-u.ac.jp 講義に関する質問などありましたらご遠慮なくどうぞ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業では、現在世の中で起きていることに関連付けて説明することが多いので、できるだけ、新聞などに興味を持って目を通す習慣をつけてください。 ・講義名が示すように、法から人間を見るのではなく、人間から法を見る視点を大事にしたいと思います。国家とは何か、人権とは何か、大人として、自分の頭で考える力を身に付けましょう。 				

開設科目名	人間関係論	科目コード	BSNBG118	開設期	1年前期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	池田浩	担当者	池田浩		
授業の概要(授業の目的)					
<p>保健・医療・福祉の臨床現場においては、多様な問題が発生し、それらを他者と綿密に連携しながら、問題解決を図ることが求められる。本科目では、看護における人間関係論の必要性を理解し、他者と円滑な対人関係を築くとともに、多職種と協働して目標達成を実現するために必要な人間関係の理論や目標達成に導くためのリーダーシップについて学修する。さらに臨床での患者や家族と看護者の人間関係を通して人間の「適応」について考えることを目的とする。</p>					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 看護における人間関係の必要性を理解することができる。				1. 生命の価値・人間の尊厳 2. 豊かな人間性の基礎 4. 論理的・科学的問題発見力	
2. 医療における人間関係についての基本的知識とスキルを習得できる。					
3. コミュニケーションの理論と実際について習得できる。					
4. チームワークを支える心理的基盤とリーダーシップの原理について理解できる。					
5. 医療現場の人間関係に関する適応について考えることができる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	医療における人間関係の諸相	講義	池田	医療における人間関係の問題を整理する	4時間
2	人間関係のスキル	講義	池田	テキスト第7章を読んでおく。人間関係スキルを実践してみる。	4時間
3	コミュニケーションの理論と実際	講義	池田	テキスト第5章を読んでおく。コミュニケーションエラーの問題を整理する。	4時間
4	チームワークを支える心理的基盤とその実際	講義	池田	テキスト第9章を読んでおく。資料を読みレポートを作成する。	4時間
5	リーダーシップの原理と基本的要件	講義	池田	テキスト第4章を読んでおく。資料を復習する。	4時間
6	医療で求められるチーム・リーダーシップ	講義	池田	テキスト第4章を読んでおく。望ましいリーダーシップを考える。	4時間
7	患者を支える人間関係	講義 演習	池田	テキスト第10章を読んでおく	4時間
8	家族を含めた人間関係	講義 演習	池田	テキスト第11章を読んでおく	4時間
成績評価方法・基準	①試験 60% ②レポート 30% ③参加度 10%				
課題に対するフィードバック	上記課題については、講義中、または後日返却する				
教科書	系統看護学講座 人間関係論 医学書院				
参考書・参考文献	特になし 授業内容に応じて紹介する				
オフィスワーク 学習相談 メッセージ その他	池田 浩(非常勤) 質問、相談等には、授業終了後、教室にて受け付けます。				

開設科目名	社会学	科目コード	BSNBG119	開設期	1 年前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	泉賢祐	担当者	泉賢祐		
授業の概要 (授業の目的)					
人間は社会とのかかわりの中で生活をしている。その人間を理解するためには、個体としての個人を理解するとともに、社会的存在としての個人を理解することが重要である。看護者として、社会学的視点を身につけることにより、社会的存在としての生活者を理解する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 社会学の基礎概念を学び、理解することができる。			2. 豊かな人間性の基礎		
2) 保健医療と社会学の関係について理解することができる。			4. 論理的、科学的問題発見力		
3) 保健医療と家族や地域社会等との関係について理解することができる。			11. 多様な価値を尊重する姿勢。		
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	社会学とは 社会学の成立と発展 保健医療社会学の内容 等	講義	泉	予習は社会学の意義(序章)を読んでおく。 復習はノートにまとめておくこと。	4 時間
2	社会学の基礎概念 社会的行為、社会関係とはなにか 集団類型、全体社会、社会変動とはなにか 等	講義	泉	予習は社会学の基礎概念(第1章)を読んでおく。 復習はノートにまとめておくこと。	4 時間
3	社会学的視点 合意とコンフリクトとはなにか 構造と解釈及び過程とはなにか 等	講義	泉	予習は社会学的視点とモデル(第2章)を読んでおく。 復習はノートにまとめておくこと。	4 時間
4	保健医療と社会学 社会関係資本とはなにか 社会システムとしての医療 等	講義	泉	予習は保健医療と社会学(第3章)を読んでおく。 復習はノートにまとめておくこと。	4 時間
5	健康・病気の社会格差 健康・病気の社会格差の諸相 社会格差による健康格差のメカニズム 等	講義	泉	予習は健康・病気の社会格差(第6章)を読んでおく。 復習はノートにまとめておくこと。	4 時間
6	労働と健康・病気 職業とはなにか 仕事と生活の調和 等	講義	泉	予習は労働と健康・病気(第7章)を読んでおく。 復習はノートにまとめておくこと。	4 時間
7	性・ジェンダー・家族と保健医療 多様化する性の概念 結婚と家族 等	講義	泉	予習は性・ジェンダー・家族と保健医療(第11章)を読んでおく。 復習はノートにまとめておくこと。	4 時間
8	地域社会と保健医療 コミュニティと地域 地域の保健力 等	講義	泉	予習は地域社会と保健医療(第12章)を読んでおく。 復習はノートにまとめておくこと。	4 時間
成績評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 70% ・レポート 30% 				
課題に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の出題意図の説明を講義中に行う、または後日掲示等する。 ・講義最終日に講義の総評や今後の学習アドバイスを行う。 				
教科書	石川ひろの・進藤雄三・山崎喜比古『系統看護学講座 基礎分野 社会学』医学書院 2020年				
参考書・参考文献	アンソニー・ギデンズ『社会学 第五版』而立書房 2009年				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・質問、相談等には、授業終了後、教室にて受け付けます。 ・日常の社会の中で起こる様々な出来事に関心を持ち、それは何なのか、なぜなのかを考える習慣をつけてください。 				

開設科目名	日本語表現論	科目コード	BSNBG120	開設期	1年前期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	吉田隆治	担当者	吉田隆治		
授業の概要(授業の目的)					
表現の基礎である語彙力を啓発し、各文の鑑賞・朗読、自己PR文等の日常的文章表現を行うことにより、日本語表現についての意識を高め、より深めることを目的とする。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 表現の基礎である語彙力を啓発し、名文の鑑賞・朗読、自己PR文等の日常的文章表現を行うことができる				2 豊かな人間性の基礎	
2) 日本語表現についての意識を高め、言語によるコミュニケーション能力を高めることができる。				6 コミュニケーションスキル(語学)	
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	導入・名文に親しむ(1)…朗読(①～⑦) ・コミュニケーションについて ・名文①～⑦の概要説明	講義	吉田	復習: 語彙力の暗記 文章の朗読と暗誦	2時間
2	日常的文章表現(1)…文章講座① ・プレゼンテーションについて 発声 ・名文⑧～⑭の概要説明	講義	吉田	予習: 文章講座の例題を考える(プリント) 復習: 語彙力の暗記(問題) 文章の朗読と暗誦	4時間
3	日常的文章表現(2)…文章講座② ・文章の書き方(例題)研究 ・語彙力確認テスト① 発声	講義	吉田	予習: 語彙力小テストへの対応 文章講座の例題を考える 復習: 文章講座(プリント)の読み	4時間
4	名文に親しむ(2)…解釈・朗読 ・古典名文①～⑦の解説 語彙力の学習 発声	講義	吉田	予習: 高校までの古文について考える 復習: 語彙力について(問題)	4時間
5	日常的文章表現(3)…封筒・手紙の書き方 ・手紙分の作成 語彙力確認テスト② 発声	講義	吉田	予習: 高校での主な出来事、実績など検証 小テストへの対応 復習: 高校担任へのはがき作成	4時間
6	名文に親しむ(3)…文章読解 ・古典⑧～⑭の概要説明 発声 ・履歴書の書き方 是がき文の返却及び指導	講義	吉田	予習: 自己PRに必要な自分史のまとめ 復習: 古文(名文)の冒頭を声に出して読むことと暗誦	4時間
7	日常的文章表現(4) ・履歴書の個別指導 ・語彙力テスト③ 発声	講義	吉田	予習: 語彙力確認テストへの対応 復習: 日常的文章の扱い方を確認	4時間
8	まとめ「名文に親しむ」30作品について再読	講義	吉田	復習: 名文冒頭の暗誦について	4時間
成績評価方法・基準	①提出作品及び試験40% ②確認小テスト30% ③参加態度20% ④発表10%				
課題に対するフィードバック	・課題の模範解答を講義内に、または後日提示します ・提出した作品について、個別に訂正等を行い、返却します ・講義内に小テストの解答解説を行います				
教科書	特になし				
参考書・参考文献	『日本語表現法』 樹書房 金田一春彦『日本語・新版』 岩波新書 斉藤孝『声に出して読みたい日本語』 草思社				
ワイアー 学習相談 メッセージ その他	吉田隆治(非常勤) 授業後、教室で質問を受け付けます				

開設科目名	English I (英語 I)	科目コード	BSNBG121	開設期	1 年後期
単位数 (履修区分)	2 単位 (必修)	時間数	30 時間	授業区分	講義
責任者	Eric FORTIN	担当者	Eric FORTIN		
授業の概要 (授業の目的)					
<p>The purpose of this course is to introduce students to the most necessary English medical words and phrases that nurse might need in the hospital setting, either in communicating with foreign patients or hospital staff. Students will also review the basic English that they have studied in junior and senior high school and see how it can be expanded to hospital-related situations that nurses need to be able to use. Students will also be introduced to some Asian countries where institutions that have sister college relationships with St. Mary's College are located.</p>					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) Students will learn nursing and medical English needed in the hospital setting.				2 豊かな人間性の基礎	
2) Students will develop their basic vocabulary				6 コミュニケーションスキル(語学)	
3) Students will develop writing skills through journal writing.				6 コミュニケーションスキル(語学)	
4) Students will develop English speaking skills through short presentations				11 多様な価値を尊重する姿勢	
5) Students will learn a little about other countries and cultures.				13 地域国際社会への貢献	
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	Introduction to the Course	講義	FORTIN	Unit 1 Preparation	3 時間
2	Unit 1. Meeting a New Patient	講義	FORTIN	Review Conversations, Key Expressions	3 時間
3	Unit 2. Talking About Symptoms	講義	FORTIN	Journal writing assignment 1	3 時間
4	Unit 3. Doing the Rounds Country profile – Korea	講義	FORTIN	Review Conversations, Key Expressions	3 時間
5	Unit 4. In-Patient Orientation Country profile: Korea	講義	FORTIN	Review Conversations & Crossword	3 時間
6	Unit 5. Explaining Medication	講義	FORTIN	Review Key expressions	3 時間
7	Unit 6. More Symptoms	講義	FORTIN	Review Conversations & Crossword	3 時間
8	Unit 7. Review	講義	FORTIN	Review Units 1-6	3 時間
9	Midterm Examination Country Profile: Thailand	講義	FORTIN	Journal writing assignment 2	3 時間
10	Unit 8. Accidents and Injuries Country profile - Thailand	講義	FORTIN	Review Conversations, Key Expressions	3 時間
11	Unit 9. Patient Examination	講義	FORTIN	Review Conversations & Crossword	3 時間
12	Unit 10. Taking a Medical History	講義	FORTIN	Review Conversations, Key Expressions	3 時間
13	Unit 11. Lifestyle and Diet	講義	FORTIN	Journal writing assignment 4 (Combining Ass. 1-3)	3 時間
14	Unit 12. Explaining Hospital Tests	講義	FORTIN	Review Conversations, Key Expressions	3 時間
15	Unit 13. Review	講義	FORTIN	Review Units 8-12	3 時間
成績評価方法・基準	Final exam: 40%; Small test: 20%; Group conversations: 10%; Journal: 10%; Study portfolio: 20%;				
課題に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の復讐の模擬試験の解答チェックを行う ・レポートの書き直しの暗示 				
教科書	Simon Capper, 『Bedside Manner Beginner』, Perceptia Press, Nagoya 2013				
参考書・参考文献	特になし				
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他	Eric Fortin (6 号館 2F L621 研究室)、オフィスアワー:水曜日 16:30~17:30				

開設科目名	English Communication	科目コード	BSNBG122	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(自由)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	Eric FORTIN	担当者	Eric FORTIN		
授業の概要(授業の目的)					
This class is the first part of the Global Human Resources course at St. Mary's College. In this class students will develop confidence and fluency in speaking English using vocabulary and grammar that they have studied in junior and senior high school.					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) Students will develop confidence in speaking about various topics.				6 コミュニケーションスキル(語学)	
2) Students will develop fluency using previously-studied vocabulary and grammar.				2 豊かな人間性の基礎	
3) Students will be able to conduct common situational conversations.				6 コミュニケーションスキル(語学)	
4) Students will understand the importance of cross-cultural communication.				13 地域国際社会への貢; 11 多様な価値尊重	
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	Introductions	講義	FORTIN	Bring motivation	2時間
2	Starting Conversations	講義	FORTIN	Review	4時間
3	Developing Conversations	講義	FORTIN	Review	4時間
4	Making Invitations and Suggestions	講義	FORTIN	Review, Role play preparation	4時間
5	Likes/Dislikes, Feelings	講義	FORTIN	Review	4時間
6	Requests	講義	FORTIN	Review	4時間
7	Opinions	講義	FORTIN	Review	4時間
8	Advice	講義	FORTIN	Review, Role paly preparation	4時間
成績評価方法・基準					
Final oral exam: 60%; Role plays: 20%; Participation: 20%					
課題に対するフィードバック					
毎回の復讐と正しい発音・英会話の使い方の指導					
教科書					
Gary Ireland, Kevin Murphy, Max Woollerton, 『The English Course: Speaking Book 1』、 The English Company (株)					
参考書・参考文献					
特になし					
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他					
Eric Fortin (6号館 2F L621 研究室)、オフィスアワー:水曜日 16:30~17:30					

開設科目名	French (フランス語)	科目コード	BSNBG123	開設期	1年後期
単位数 (履修区分)	1 単位 (選択)	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	Eric FORTIN	担当者	Eric FORTIN		
授業の概要 (授業の目的)					
<p>This course will introduce students to the basic vocabulary, expressions, and essential grammar of the French language while exposing them to various aspects of French culture and daily life.</p> <p>(基本的な日常フランス語を習いながら、フランスの文化も学ぶ。)</p>					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) Students will learn the French pronunciation system and basic vocabulary.			2 豊かな人間性の基礎		
2) Students will learn the most important and useful French grammar.			6 コミュニケーションスキル(語学)		
3) Students will learn about French culture and life.			11 多様な価値を尊重する姿勢		
4) Students will have ample opportunity to practice role-playing situations.			13 地域国際社会への貢献		
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	挨拶: 自己紹介、国籍、仕事; 教室のもの	講義	FORTIN	やる気を持ってください。	2 時間
2	買い物: 教室のもの、数字、色	講義	FORTIN	復習	4 時間
3	宿泊: 家、家族、ホテルの予約	講義	FORTIN	復習	4 時間
4	食べ物: レストランの注文、時間、食事	講義	FORTIN	復習	4 時間
5	乗り物: 曜日、町の場所	講義	FORTIN	復習	4 時間
6	観光: フランスの名所、自然	講義	FORTIN	復習	4 時間
7	問題: 体、医者と患者、事故	講義	FORTIN	復習	4 時間
8	復習	講義	FORTIN	復習	4 時間
成績評価方法・基準					
Final written exam: 30%; Final oral exam: 30%; Small tests: 20%; Participation: 20%					
課題に対するフィードバック					
毎回の復習と正しい発音・フランス語会話の使い方の指導					
教科書					
特になし (教員からのプリント)					
参考書・参考文献					
特になし					
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他					
Eric Fortin (6号館 2F L621 研究室)、オフィスアワー:水曜日 16:30~17:30					

開設科目名	スペイン語	科目コード	BSNBG124	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	フジヨシ ミヨコ	担当者	フジヨシ ミヨコ		
授業の概要(授業の目的)					
国際公用語のひとつとして、基礎的な日常会話を学び、スペイン語文化圏への理解を深める。初歩的基本的事項に関し、現実的状况に即した表現を通して「話す」「聞く」「読む」「書く」力を総合的に身につけることを目標とする。また、生活習慣や行事のほか、文化紹介も行う。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 簡単な挨拶や自己紹介ができる			2 豊かな人間性の基礎 6 コミュニケーションスキル(語学) 11 多様な価値を尊重する姿勢 13 地域国際社会への貢献		
2) よく使う動詞(規則動詞、不規則動詞)の現在形の活用、目的語(直接、間接)とその使い方が理解できる					
3) 再帰動詞について理解できる					
4) スペイン語文化圏の生活習慣や行事、文化等について理解できる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	授業の目標と進め方、基本的な挨拶 アルファベット・発音・アクセントの位置	講義	フジヨシ	授業内容の復習	4時間
2	SER 動詞、冠詞+名詞+形容 自己紹介、国籍、出身地、職業等 物や人物の描写	講義	フジヨシ	授業内容の復習	4時間
3	E S T A R, H A Y 動詞 健康状態を表す、場所の説明	講義	フジヨシ	授業内容の復習	4時間
4	規則活用動詞(直説法現在) 時間経過と天候の表現	講義	フジヨシ	授業内容の復習	4時間
5	不規則動詞変化形 ～したい、～と思うの表現	講義	フジヨシ	授業内容の復習	4時間
6	不規則動詞変化形 ～できる、～しなければならないの表現 近い未来の表現	講義	フジヨシ	授業内容の復習	4時間
7	直接目的格人称代名詞、間接目的格人称代名詞、[～を]の代名詞、[～に]の代名詞	講義	フジヨシ	授業内容の復習	4時間
8	G U S T A R 動詞、再帰動詞 ～が好きだ、～興味ある、～と思う、～が痛い表現 他動詞の自動詞化、無人称・受身の表現	講義	フジヨシ	授業内容の復習	4時間
成績評価方法・基準	①小テスト、授業内レポート 80% ②宿題 20% ③態度を目安に評価する。				
課題に対するフィードバック	最後の講義日に今後の学修アドバイスを行う				
教科書	特になし				
参考書・参考文献	山道佳子、Jesús M. Martínez Astudillo、『En español, por favor! (同学社) ISBN 4-8102-0362-X ※西和・和西辞典の持参が望ましい。特に指定はしない。				
アドバイザー 学習相談 メッセージ その他	フジヨシ・ミヨコ(非常勤) 授業終了後、教室で質問を受け付ける。 ラテンアメリカの国々とスペイン等、サッカーでもよく使われるスペイン語にふれてみませんか?				

開設科目名	韓国語	科目コード	BSNBG125	開設期	1年前期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	池田桂子	担当者	池田桂子		
授業の概要(授業の目的)					
最も近い隣国の言語のひとつとして、基礎的な日常会話を学び、韓国語文化圏への理解を深める。初歩的、基本的な事項に関し、現実的状况に即した表現を通して「話す」「聞く」「読む」「書く」力を総合的に身につけることを目標とする。また、生活習慣や行事の他、文化紹介も行う。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 韓国語の文字ハングルの仕組みが理解できる			2 豊かな人間性の基礎 6 コミュニケーションスキル(語学) 11 多様な価値を尊重する姿勢 13 地域国際社会への貢献		
2) 基礎的な文法が理解できる					
3) 隣国の言葉や文化に興味を持つことができる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	韓国語の書き方, 読み方① ハングルの子音・母音の発音	講義	池田	発音の練習をしておく	4時間
2	韓国語の書き方, 読み方② 子音と母音の組み合わせの発音	講義	池田	発音の練習をしておく	4時間
3	韓国語の書き方, 読み方③ 子音+母音+子音の発音と合成母音の発音	講義	池田	発音の練習をしておく	4時間
4	あいさつ	講義	池田	発音の練習をしておく	4時間
5	韓国の文化	講義	池田	両国の文化を調べ、比較しておく	4時間
6	文法・会話① 動詞の活用と助詞の使い方	講義	池田	動詞、形容詞の活用の作り方の復習をしておく	4時間
7	文法・会話② 疑問文、否定文	講義	池田	疑問文、否定文の作り方の復習をしておく	4時間
8	まとめ	講義	池田	今まで習った韓国語を応用できるようにしておく	4時間
成績評価方法・基準	①筆記試験90% ②レポート10%				
課題に対するフィードバック	講義最終日に講義の総評や今後の学習アドバイスを行います				
教科書	プリント				
参考書・参考文献	特になし				
ワイアー 学習相談 メッセージ その他	池田桂子(非常勤) 講義終了後、教室で質問を受け付けます 韓国の文化・生活習慣の紹介によって、もっとも近い隣国を知る機会になる。				

開設科目名	中国語	科目コード	BSNBG126	開設期	1年前期
単位数(履修区分)	1単位(選択)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	管虹	担当者	管虹		
授業の概要(授業の目的)					
アジアのメンバー、多大な影響を与えた国の言語の一つとして基礎的な日常会話を学び、中国語文化圏への理解を深める。初歩的、基本的な事項に関し現実的状況に即した表現を通して「話す」「聞く」「読む」「書く」力を総合的に身につけることを目標とする。また、生活習慣や行事の他、文化紹介も行う。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 初歩的な中国語の会話ができる				2 豊かな人間性の基礎	
2) 中国語で基礎的な医療用コミュニケーションができる				6 コミュニケーションスキル(語学)	
3) 中国文化について理解できる				11 多様な価値を尊重する姿勢	
4) 学び合い、助け合い、励まし合い、認め合い、高め合う協同力が向上できる				13 地域国際社会への貢献	
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	グループ分け、協同学習について、中国語概説 第1課 自己紹介。発音、挨拶①	講義	管	予習: はじめに、中国語概説 復習: 発音、挨拶① 予習: 単語、挨拶① 復習: 発音、挨拶①	4時間
2	第1課 自己紹介。表現、会話、ドリル	講義	管	予習: 表現、会話 復習: 自己紹介	4時間
3	第2課 どうなさいましたか。発音、挨拶②、表現	講義	管	予習: 単語、挨拶②、表現 復習: 発音、数字	4時間
4	第2課 どうなさいましたか。会話、ドリル 第3課 この薬はどう飲みますか。発音、表現	講義	管	予習: 会話 復習: 症状の言い方 予習: 単語、表現 復習: 発音、	4時間
5	第3課 この薬はどう飲みますか。会話、ドリル	講義	管	予習: 会話 復習: 薬の飲み方の表現	4時間
6	第4課 病室はどこですか。発音、表現	講義	管	予習: 単語、表現 復習: 場所・方向の表現	4時間
7	第4課 病室はどこですか。会話、ドリル	講義	管	予習: 会話 復習: 存在の表現	4時間
8	まとめ、復習	講義	管	復習: 発音・表現・会話の総合復習	4時間
成績評価方法・基準	①テスト60% ②課題の完成度・授業への参加態度40%				
課題に対するフィードバック	・課題の模範解答を講義内に、または後日提示する ・振り返りシートの模範記入を講義内に提示する				
教科書	『協同学習で学ぶ 医療系中国語会話』李偉・管虹 著 白帝社				
参考書・参考文献	特になし				
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他	管虹(非常勤) 授業終了後、教室で質問を受け付けます				

開設科目名	多文化の尊重	科目コード	BSNBG127	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	秦野環	担当者	秦野環、Eric FORTIN、中島小乃美		
授業の概要(授業の目的)					
人々が暮らす社会には多くの文化や慣習、多様な価値などが存在する。グローバル化された社会で生きる我々は、目の前で展開される文化や慣習だけでなく、多くの文化や慣習の存在を知り、柔軟に対応する能力が求められる。また文化や慣習が人々の健康に与える影響を理解する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 文化を構成する要素を含め「文化とは何か」を説明できる				1 生命の価値・人間の尊厳 11 多様な価値を尊重する姿勢 13 地域国際社会への貢献	
2. 世代、地域などにより尊重される文化があることを説明できる					
3. 「文化を尊重する」とはどのようなことか説明できる					
4. 文化や慣習が人々の健康にも影響を与えることを理解し、具体例を説明できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	文化とは何かについて考える	講義	秦野	文化とは何か、書籍やインターネットを活用し、調べておく	4時間
2	文化と宗教	講義	Fortin	世界中にはどのような宗教があるのか調べておく	4時間
3	アメリカの文化	講義	Fortin	アメリカの興味あるところに関し調べておく	4時間
4	JICA 研修員(3~4 か国)から、国や文化の特徴を学ぶ	講義	秦野	発表者が決定したら国をお知らせします。 研修員の出身国について調べる	6時間
5	文化と看護: アジアの宗教と看護	講義	中島	看護を展開するときに文化を尊重するとは?を考えてみておく	4時間
6	文化と看護: アジアの伝統医療と看護	講義	中島	看護を展開するときに文化を尊重するとは?を考えてみておく	2時間
7	映画鑑賞し、差別と偏見について学び、看護に求められていることを学ぶ	講義と 視聴覚教材	秦野	① HIV/エイズに感染するってどういうことだろうか? ② 同性愛ってどういうことだろうか、を考えておく	4時間
8	映画鑑賞し、差別と偏見について学び、看護に求められていることを学ぶ	講義と 視聴覚教材	秦野	① HIV/エイズに感染するってどういうことだろうか? ② 同性愛ってどういうことだろうか、を考えておく	2時間
成績評価方法・基準	① 期末試験 70% ② 事前学習の提出と課題レポート 30%				
課題に対するフィードバック	課題に対するフィードバックは、授業ごとに行う				
教科書	特になし				
参考書・参考文献	参考となる文献、各団体(政府組織、国連組織、関係あるNGOなど)のホームページなどを適時紹介します。				
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他	秦野環 研究室 2号館1階、214 研究室 オフィスアワー 火曜日、12時10分~13時10分、他の学生さんとの重なりを避けるために、事前にメールで連絡ください。 質問、意見などは、オフィスアワーに関係なく、office365 を活用し、メールでご連絡ください。				

開設科目名	人体の構造と機能 I	科目コード	BSNFN101	開設期	1 年前期
単位数 (履修区分)	2 単位 (必修)	時間数	4 5 時間	授業区分	講義
責任者	鶴崎政志	担当者	鶴崎政志		
授業の概要 (授業の目的)					
看護を実践する際に必要となる人体の構造と機能を知り、人間の生命現象がどのようなメカニズムで行われているかを学修する。そのため人体を構成する組織や器官などの形態と構造を理解し、人体全体の機能における各器官の働きを学修する。I では、総論、骨格系と筋系、循環器、血液系、呼吸器、消化器系を学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 各臓器の位置を説明できる。			3 看護実践知識 4 論理的・科学的問題発見力 5 問題解決判断力		
2) 各臓器の構造の特徴を説明できる。					
3) 各臓器の役割を説明できる。					
4) 各臓器の具体的な機能を説明できる。					
5) 各臓器の機能の特徴を整理して説明できる。					
6) 臓器の機能障害と疾病との関係について述べるができる。					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	総論：解剖学と生理学、器官系、組織・細胞の成立ち	講義	鶴崎	該当する講義プリントページを読んでおく。	2 時間
2	体を動かす－1：骨格・骨の構造と役割	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する。	2 時間
3	体を動かす－2：骨の構造と役割	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する。	2 時間
4	体を動かす－3：全身の骨格筋	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する。	2 時間
5	体を動かす－4：骨格筋の構造と収縮メカニズム	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する。	2 時間
6	体を動かす－5：筋収縮の制御と関節運動	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する。	2 時間
7	物質の移動－1：循環器の構成・動脈の分布	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する。	2 時間
8	物質の移動－2：静脈の分布とリンパ管	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する。	2 時間
9	物質の移動－3：心臓の構造と機能・その評価方法	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する。	2 時間
10	物質の移動－4：血管の構造と機能	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する。	2 時間
11	物質の移動－5：特殊な循環・血圧調節機構	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する。	2 時間
12	血液－1：血液の組成と血球の形態	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する。	2 時間
13	血液－2：血球の分化と機能	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する。	2 時間
14	血液－3：血液の機能と免疫機能の概要	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する。	2 時間
15	呼吸－1：呼吸器の構成と外呼吸・内呼吸	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する。	2 時間
16	呼吸－2：胸郭の構造と換気運動	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する。	2 時間
17	呼吸－3：呼吸の調節、スパイロメトリー	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する。	2 時間
18	消化器－1：消化器の構成と消化管の構造	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する。	2 時間
19	消化器－2：口腔内消化、嚥下	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する。	2 時間
20	消化器－3：胃での消化と胃粘膜障壁	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する。	2 時間
21	消化器－4：小腸での消化と吸収	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する。	2 時間
22	消化器－5：大腸での吸収と排便	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する。	2 時間
23	消化器－6：エネルギー代謝と体温	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する。	2 時間
成績評価方法・基準	筆記試験 (本試験 90 分) 100%				
課題に対するフィードバック	試験終了後に模範解答を掲示する				
教科書	「人体の構造と機能 第4版」：佐藤昭夫、佐伯由香、原田玲子 編集、医歯薬出版				
参考書・参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・「トータル人体解剖生理学」：佐伯由香他 訳、丸善株式会社 ・「一目で分かる解剖学」：山内昭雄、桜木晃彦 訳、MEDSI (メディカル・サイエンス・インターナショナル) ・「ネッター 解剖生理学アトラス」：相磯貞和、渡辺修一 訳、南江堂 				
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他	鶴崎 政志 (非常勤) 質問、相談等には、授業終了後、教室にて受け付けます。 質問用メールアドレス：mtsurusaki@me.com (所属・名前必須) を有効活用してください。				

開設科目名	人体の構造と機能Ⅱ	科目コード	BSNFN102	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	45時間	授業区分	講義
責任者	鶴崎政志	担当者	鶴崎政志		
授業の概要(授業の目的)					
看護を実践する際に必要となる人体の構造と機能を知り、人間の生命現象がどのようなメカニズムで行われているかを学修する。そのため人体を構成する組織や器官などの形態と構造を理解し、人体全体の機能における各器官の働きを学修する。Ⅱでは、神経系、内分泌系、感覚系、泌尿器系、生殖系を学修する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1)各臓器の位置を説明できる。			3看護実践知識 4論理的・科学的問題発見力 5問題解決判断力		
2)各臓器の構造の特徴を説明できる。					
3)各臓器の役割を説明できる。					
4)各臓器の具体的な機能を説明できる。					
5)各臓器の機能の特徴を整理して説明できる。					
6)臓器の機能障害と疾病との関係について述べるができる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	体を制御する-1:神経細胞の種類と形態	講義	鶴崎	該当する講義プリントページを読んでおく。	2時間
2	体を制御する-2:中枢神経系の構造	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する。	2時間
3	体を制御する-3:脳の機能局在	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する	2時間
4	体を制御する-4:脊髄の構造と主な脊髄伝導路	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する	2時間
5	体を制御する-5:脊髄神経の走行とデルマトーム	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する	2時間
6	体を制御する-6:自律神経と臓器支配	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する	2時間
7	体液性調節-1:内分泌系の概要と一般的な作用機序	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する	2時間
8	体液性調節-2:視床下部-下垂体系	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する	2時間
9	体液性調節-3:甲状腺、副腎	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する	2時間
10	体液性調節-4:その他のホルモンと主な内分泌異常	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する	2時間
11	情報を得る-1:感覚の種類と受容器細胞、一般的性質	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する	2時間
12	情報を得る-2:感覚の伝導路	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する	2時間
13	情報を得る-3:特殊感覚の特徴と構造(1)視覚	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する	2時間
14	情報を得る-4:特殊感覚の特徴と構造(2)聴覚と前庭感覚	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する	2時間
15	情報を得る-5:特殊感覚の特徴と受容器の構造(3)嗅覚と味覚	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する	2時間
16	体液の恒常性-1:泌尿器の構成と構造	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する	2時間
17	体液の恒常性-2:ネフロンの構造と機能	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する	2時間
18	体液の恒常性-3:排尿のメカニズム	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する	2時間
19	体液の恒常性-4:体液の調節	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する	2時間
20	子孫を残す-1:生殖器の構造と遺伝情報	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する	2時間
21	子孫を残す-2:性周期とホルモン動態	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する。	2時間
22	子孫を残す-3:胚葉の分化と胎児の成長、老化	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する	2時間
23	子孫を残す-4:胎児循環と先天性の循環器障害	講義	鶴崎	該当講義プリントページで復習する	2時間
成績評価方法・基準	筆記試験(本試験90分)100%				
課題に対するフィードバック	試験終了後に模範解答を掲示する				
教科書	「人体の構造と機能 第4版」:佐藤昭夫、佐伯由香、原田玲子 編集、医歯薬出版				
参考書・参考文献	・「トータル人体解剖生理学」:佐伯由香他 訳、丸善株式会社 ・「一目で分かる解剖学」:山内昭雄、桜木晃彦 訳、MEDSi(メディカル・サイエンス・インターナショナル) ・「ネッター 解剖生理学アトラス」:相磯貞和、渡辺修一 訳、南江堂				
オフィスワーク・学習相談 メッセージ・その他	鶴崎 政志(非常勤) 質問、相談等には、授業終了後、教室にて受け付けます。 質問用メールアドレス: mtsurusaki@me.com (所属・名前必須)を有効活用してください。				

開設科目名	人体の構造と機能演習	科目コード	BSNFN103	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	演習
責任者	小浜さつき	担当者	日高艶子、崎田マユミ、鶴田明美、小浜さつき、秦朝子、石本祥子、他		
授業の概要(授業の目的)					
既に学修した人体の構造と機能を基に特に成人期にある人の日常生活行動からその行動に関する、人体の構造と機能についてケース・スタディやシミュレーターを用いて、また実際に体験することにより学修する。学修項目は、日常生活行動のなかから、呼吸すること、食べること、排泄すること、動くこと、眠ることの5項目である。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 呼吸することに関する人体の構造と機能を説明できる。				4. 論理的・科学的・問題発見力 5. 問題解決判断力	
2. 食べることに関する人体の構造と機能を説明できる。					
3. 排泄することに関する人体の構造と機能を説明できる。					
4. 動くことに関する人体の構造と機能を説明できる。					
5. 眠ることに関する人体の構造と機能を説明できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	食べる:「食べる」行為を通して自分の身体の動きを記述し、「食べる」ことに関する人体のしくみを学修する。	講義 討論 実技	日高 他	教科書第5章「食べる」p109-p126を読み、事前学習をして参加する。講義終了後に学修内容をレポートにまとめて提出する。	5時間
2	呼吸をする:息を吸うこと、息を吐くことを通して自分の身体の動きを記述し、呼吸に関する人体のしくみを学修する。	講義 討論 実技	崎田 他	教科書第6章「息をする」p127-137を読み事前学習をして参加する。講義終了後に学修内容をレポートにまとめて提出する。	5時間
3	排泄をする:自分の排尿、排便について観察し排尿と排便に関する人体のしくみを学修する。	講義 討論 実技	秦 石本 他	教科書第7章「トイレに行く」p139-153を読み、自分の排尿と排便についてレポートをまとめ講義に出席する。講義終了後に学修内容をレポートにまとめて提出する。	5時間
4	動く:他者の歩行を観察し、歩くことに関する人体のしくみを学修する。	講義 討論 実技	小浜 他	教科書第4章「動く」p79-107を読み事前学習をして参加する。講義終了後に学修内容をレポートにまとめて提出する。	5時間
5	眠る:なぜ人は、眠くなるのか、眠ることに関する人体のしくみを学修する。	講義 討論 実技	鶴田 他	教科書第9章「眠る」p163-170を読み、自分の睡眠行動についてレポートをまとめ講義に出席する。講義終了後に学修内容をレポートにまとめて提出する。	5時間
6	日常生活行動の呼吸をする、食べる、排泄をする、動く、	講義	担当	第1回~第5回に学修した内容を復習した上で参加すること。最後に、全演習を通して学修した内容をまとめて提出する。	5時間
7	眠ることを妨げる人体の構造と機能について、少人数グループで各ブースを回り、学修する・まとめ	討論	教員		
8		実技			
成績評価方法・基準	① レポート50% ② テスト50%				
課題に対するフィードバック	各回の講義終了後に提出していただいたレポートは各回担当の教員が返却します。				
教科書	看護形態機能学—生活行動からみるからだ—第4版 菱沼典子著 日本看護協会出版会、2017				
参考書・参考文献	特になし				
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他	小浜さつき(2号館1階222研究室) オフィスアワー:火曜日16:30-17:30 学習相談は随時受け付けます。レポートの提出場所、方法については後日お知らせします。				

開設科目名	病理学	科目コード	BSNFN104	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	杉田保雄	担当者	杉田保雄		
授業の概要(授業の目的)					
初めて病気について学ぶ学生が、病気の原因や病気の成り立ちのしくみを理解し、看護の実践の場で医学との有機的関連のもとで応用できる病気の基礎知識を体得できるよう、①細胞・組織とその障害 ②再生と修復 ③循環障害 ④炎症 ⑤免疫とアレルギー ⑥先天奇形 ⑦腫瘍 他、について学修する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 病気の原因が理解できる				3 看護実践知識	
2) 病気の成り立ちのしくみを理解できる				4 論理的・科学的問題発見力	
3) 病気の基礎知識を理解できる				5 問題解決判断力	
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	病理学の領域	講義	杉田	病理学の概要、病理学と臨床医学	1時間
2	細胞・組織とその障害	講義	杉田	細胞の構造と機能、組織、細胞障害などについて	1時間
3	再生と修復	講義	杉田	化生、創傷治癒と肉芽組織、異物処理など	1時間
4	循環障害①充血とうっ血、旁側循環、出血、血液凝固など	講義	杉田	充血とうっ血、旁側循環、出血、血液凝固など	1時間
5	循環障害②塞栓症、虚血と梗塞、浮腫、ショックなど	講義	杉田	塞栓症、虚血と梗塞、浮腫、ショックなど	1時間
6	炎症①炎症の基本病変、炎症のメカニズム、急性炎症の種類	講義	杉田	炎症の基本病変、炎症のメカニズム、急性炎症の種類	1時間
7	炎症②慢性炎症のメカニズム、肉芽腫性炎症、炎症の全身への影響など	講義	杉田	慢性炎症のメカニズム、肉芽腫性炎症、炎症の全身への影響など	1時間
8	感染症・免疫・アレルギー	講義	杉田	感染症とは、生体における免疫系の役割、自己免疫疾患など	1時間
9	代謝異常	講義	杉田	脂質、糖質、蛋白質代謝異常など	1時間
10	老年病	講義	杉田	生理的老化と病気、老化のしくみなど	1時間
11	新生児の異常・先天性奇形	講義	杉田	正常産児、早産児の疾病、先天異常の原因など	1時間
12	腫瘍①形態、発生と発育、悪性腫瘍の進展と転移など	講義	杉田	腫瘍の形態、発生と発育、悪性腫瘍の進展と転移など	1時間
13	腫瘍②腫瘍と宿主の関係、発生のメカニズム、疫学	講義	杉田	腫瘍と宿主の関係、発生のメカニズム、疫学	1時間
14	生命の危機	講義	杉田	日本人の死因、生命に危機をもたらす損傷、ショックの臨床症状と対応方針など	1時間
15	まとめ	講義	杉田		1時間
成績評価方法・基準	①筆記試験 100%				
課題に対するフィードバック	前回講義した授業項目について教員と学生で討議を行う				
教科書	『カラーで学べる病理学』ヌーヴェルヒロカワ				
参考書・参考文献	特になし				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	杉田保雄(非常勤) 質問、相談等には、授業終了後、教室にて受け付けます。 毎回予習をしていただくことが望ましい 授業前にアクティブラーニングとして小テストを行う				

開設科目名	生化学	科目コード	BSNFN105	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	池田義孝	担当者	池田義孝		
授業の概要(授業の目的)					
<p>人体における種々の生体物質の性質、人体の中で起こる物質代謝、エネルギー代謝のしくみと人体の正常な機能維持に関して学ぶ。その上で、異常代謝、先天性疾患などを通して病態生化学、生理学の領域を理解する。</p>					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 生体分子の基本的な化学について知る。				3 看護学に必要な基本的かつ専門的知識	
2) 人体の活動や機能維持に必要な代謝に関する知識を身につける。				3 看護学に必要な基本的かつ専門的知識 4 論理的・科学的思考	
3) 代謝の異常と人体の病的状態の関連性について理解する。				4 論理的・科学的思考 5 知識の応用と問題解決判断力	
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	エネルギー代謝・物質代謝の概要	講義	池田	配布資料の復習と教科書・参考書等を参照し復習	4時間
2	生体を構成する分子	講義	池田	配布資料の復習と教科書・参考書等を参照し復習	4時間
3	酵素・ビタミン	講義	池田	配布資料の復習と教科書・参考書等を参照し復習	4時間
4	糖質代謝	講義	池田	配布資料の復習と教科書・参考書等を参照し復習	4時間
5	脂質代謝	講義	池田	配布資料の復習と教科書・参考書等を参照し復習	4時間
6	内分泌・生体の恒常性	講義	池田	配布資料の復習と教科書・参考書等を参照し復習	4時間
7	核酸と遺伝子	講義	池田	配布資料の復習と教科書・参考書等を参照し復習	4時間
8	遺伝病・代謝異常	講義	池田	配布資料の復習と教科書・参考書等を参照し復習	4時間
成績評価方法・基準	筆記試験(90分) 100%				
課題に対するフィードバック	定期試験の総評を行う				
教科書	医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[2] 生化学				
参考書・参考文献	特になし				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	池田義孝(非常勤) 質問、相談等には、授業終了後、教室にて受け付けます。				

開設科目名	栄養学	科目コード	BSNFN106	開設期	1年後期
単位数（履修区分）	1単位（必修）	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	立野順子	担当者	立野順子		
授業の概要（授業の目的）					
<p>人体に必要な栄養素の働きと食事について学ぶ。 栄養学を通じて、現代の食事の変化と疾患の誘因を理解し、臨床現場における健康に障害を持つ人々の回復のための栄養教育に役立てる。</p>					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 人体に必要な栄養素の働きについて理解できる				3 看護実践知識 4 論理的・科学的問題発見能力 5 問題解決判断力	
2) 人体に必要な食事について理解できる					
3) 現代の食事の変化と疾患の誘因が理解できる					
4) 臨床現場での栄養指導について考察できる					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	栄養学と看護、栄養素の種類	講義	立野	教科書①第1章、第2章を読んでおく 生化学栄養素の復習	4時間
2	食物の消化と栄養素の吸収・代謝	講義	立野	教科書①第3章を読んでおく 小テストの復習	4時間
3	エネルギー代謝・食事と食品	講義	立野	教科書①第4章を読んでおく 小テストの復習	4時間
4	栄養ケア・マネジメント、栄養状態の評価・判定	講義	立野	教科書①第6章、第7章を読んでおく 小テストの復習	4時間
5	ライフステージと栄養	講義	立野	教科書①第8章を読んでおく 小テストの復習	4時間
6	臨床栄養① 病院食と経腸栄養製品の種類	講義	立野	教科書①第9章、病院食と経腸栄養製品の種類を 読んでおく 小テストの復習	4時間
7	臨床栄養② 疾患別の食事療法	講義	立野	教科書①第9章、疾患別の食事療法を読んでおく 小テストの復習	4時間
8	健康づくりと食生活	講義	立野	教科書①第10章を読んでおく 小テストの復習	4時間
成績評価方法・基準	①定期試験 90% ②小テスト 10%				
課題に対するフィードバック	講義内に小テストの解答解説を行う				
教科書	医学書院「系統看護学講座 専門基礎 栄養学」				
参考書・参考文献	特になし				
ワイアワ 学習相談 メッセージ その他	立野順子（非常勤） 質問、相談等には、授業終了後、教室にて受け付けます。				

開設科目名	感染・生体防御論 I	科目コード	BSNFN107	開設期	1 年前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	1 5 時間	授業区分	講義
責任者	黒岩中	担当者	黒岩中		
授業の概要 (授業の目的)					
社会構造の少子・超高齢化に伴う易感染宿主の増加や、地球規模の環境破壊によるウイルス感染を主とした新興感染症の出現など、現代の新しい感染症時代に対応すべく各種病原微生物の正しい知識とそれら病原体の人体への関わりを学習する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1)自然界に存在し人体へ影響を及ぼす微生物 (医動物を含む) の種類と特性が理解できる。			3 看護実践知識 4 論理的・科学的問題発見力 5 問題解決判断力		
2)微生物の感染に対しての生体の防御機構の概念が説明できる					
3)微生物感染に対応する処置や予防法について把握することが出来る。					
4)免疫弱者から日和見感染を防御する方法を考えることが出来る。					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	病原微生物学	講義	黒岩	教科書・第 1 章を参照	4 時間
2	細菌学総論：細菌の性質	講義	黒岩	同・第 2 章を参照	4 時間
3	真菌、原虫の性質	講義	黒岩	同・第 3, 4 章参照	4 時間
4	ウイルス総論：ウイルスの性質	講義	黒岩	同・第 5 章参照	4 時間
5	感染と感染症	講義	黒岩	同・第 6 章、第 8 章参照	4 時間
6	感染症の現状と対策	講義	黒岩	同・第 12 章参照	4 時間
7	感染に対する生体防御機構 (免疫機構) ①	講義	黒岩	同・第 7 章参照	4 時間
8	同上・②、および 予防ワクチン	講義	黒岩	同上	4 時間
成績評価方法・基準	①期末試験 80% ②小試験 10% ③授業への参加度 10%				
課題に対するフィードバック	講義最終日に講義の総評や今後の学修アドバイスを行う				
教科書	南嶋洋一ほか編 『系統看護学講座 専門基礎分野 微生物学』 医学書院 13 版 2019				
参考書・参考文献	特になし				
ワイアー 学習相談 メッセージ その他	黒岩 中 (非常勤) 教務課メールアドレス (kyoumu@st-mary.ac.jp) へ 講義は主に自作の図表・スライドを用いて行うので、聴講態度や関心の意欲が問われる。				

開設科目名	感染・生体防御論Ⅱ	科目コード	BSNFN108	開設期	1年後期
単位数（履修区分）	1単位（必修）	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	黒岩中	担当者	黒岩中		
授業の概要（授業の目的）					
感染・生体防御論-Iで学習した知識を基に、各種病原体の実態とそれらに対する具体的な防御・予防法を学習する。特に易感染弱者の多い病院内での感染の予防法を知る。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 感染症の主要感染源である各種細菌を説明できる。			3 看護実践知識 4 論理的・科学的問題発見力 5 問題解決判断力		
2) 近年の感染症の主体である各種ウイルスを説明できる。					
3) 感染源の防御法、感染症の治療法を理解できる。					
4) 感染防御機構の負の側面を理解できる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	細菌学各論① グラム陽性細菌	講義	黒岩	教科書・第13章を参照①	4時間
2	細菌学各論② グラム陰性細菌、ほか	講義	黒岩	教科書・第13章を参照②	4時間
3	ウイルス学各論① DNAウイルス、RNAウイルス	講義	黒岩	教科書・第16章参照①	4時間
4	ウイルス学各論② その他のウイルス、ほか： 腫瘍ウイルス、プリオンなど	講義	黒岩	教科書・第16章参照②	4時間
5	真菌、原虫、寄生虫各論	講義	黒岩	教科書・第14、15章参照	4時間
6	感染症の検査、診断：治療 = 化学療法	講義	黒岩	教科書・第10、11章参照	4時間
7	消毒、滅菌法：日和見感染症の予防	講義	黒岩	教科書・第8、9章参照	4時間
8	生体防御の負の現象：過敏症など	講義	黒岩	配付資料を参照、参考書を読む	4時間
成績評価方法・基準					
期末試験 80% 小試験 10% 授業への参加度 10%					
課題に対するフィードバック					
講義最終日に講義の総評や今後の学修アドバイスを行う					
教科書					
南嶋洋一ほか編『系統看護学講座 専門基礎分野 微生物学』医学書院 13版 2019					
参考書・参考文献					
参考書：小安重夫著「免疫学はやっぱりおもしろい」羊土社 2008					
ワイプー 学習相談 メッセージ その他					
黒岩 中（非常勤） 教務課メールアドレス（kyoumu@st-mary.ac.jp）へ 講義は主に教科書のほか、自作の図表・スライドを用いて行うので、聴講態度や関心の意欲が問われる。					

開設科目名	保健医療福祉と看護	科目コード	BSNFN109	開設期	1年前期
単位数(履修区分)	2単位(必修)	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	眞崎直子	担当者	井手三郎、岡由紀子、眞崎直子		
授業の概要(授業の目的)					
<p>本学の基本理念であるカトリックの愛の精神に基づき、人々の健康課題の解決に必要な社会資源の開発、保健医療福祉サービスの評価および調整方法について基本的な知識、技術を学ぶ。</p>					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 我が国の保健医療福祉の制度と看護について理解できる。			3看護実践知識・◎4問題発見力◎5問題解決判断力		
2. 人々の健康課題の解決に必要な社会資源の開発について理解する。			◎・12他職種協調		
3. 保健医療福祉サービスの評価および調整方法について理解できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	保健医療福祉と看護	講義	眞崎	教科書第1章、第2章を読んでおく	4時間
2	我が国の保健・医療の現状と課題	講義	井手	教科書第1章、第2章を読んでおく	4時間
3	社会保障制度と医療行政	講義	井手	教科書第1章、第2章を読んでおく	4時間
4	地域包括ケアシステムと保健医療福祉施策	講義	眞崎	教科書第3章、第4章を読んでおく	4時間
5	精神障害者に関する地域づくりと保健医療福祉施策	講義	眞崎	国民衛生動向精神保健の章を読んでおく	4時間
6	予防的視点を生かした地域づくりと保健医療福祉施策	講義	眞崎	国民衛生動向第3編を読んでおく	4時間
7	健康危機管理と保健医療福祉施策(課題実践)	演習	眞崎	国民衛生の動向37Pを読んでおく	4時間
8	社会福祉制度体系と法制度:全体像	講義	岡	教科書第1章、第3章を読んでおく	4時間
9	社会福祉制度体系と法制度:(医療・年金ほか)	講義	岡	教科書第1章、第2章を読んでおく	4時間
10	社会福祉制度体系と法制度:(公的扶助制度)	講義	岡	教科書第3章を読んでおく	4時間
11	社会福祉制度体系と法制度:児童・家族福祉に関する制度	講義	岡	教科書第6章を読んでおく	4時間
12	社会福祉制度体系と法制度:高齢者に関する制度	講義	岡	教科書第4章を読んでおく	4時間
13	社会福祉制度体系と法制度:障がい者に関する制度	講義	岡	教科書第5章を読んでおく	4時間
14	社会福祉制度体系と法制度:権利擁護に関する制度	講義	岡	教科書207~208Pを読んでおく	4時間
15	社会資源の開発及び保健医療福祉サービスの評価と調整について	演習 討論	眞崎	これまでの保健医療福祉制度を生かした看護の展開を各自考え、討論する。	4時間
成績評価方法・基準	① 試験 40%、②課題 60% (演習前・時に提示する) の総合評価				
課題に対するフィードバック	課題レポートは、プレゼン発表時にコメントし、課題についてはコメントをつけて返却する。				
教科書	NPO 法人日本医療ソーシャルワーク研究会『2019年度版 医療福祉総合ガイドブック』医学書院 2019 厚生労働統計協会『国民衛生の動向2019/2020』厚生労働協会 2019				
参考書・参考文献	藤内修二他『標準保健師講座 保健医療福祉行政論』医学書院 2019				
オフィスワーク 学習相談 メッセージ その他	眞崎直子(7号館2階722研究室)、オフィスアワー:火曜12:10~13:10、その他在室時 * ICTの活用:演習後はWebClassで理解度の確認テストを受けることができます。解説を確認し、復習に活用してください。 変化の激しい今日、看護職には保健・医療・福祉制度を理解し、社会資源の知識と活用スキルが要求されます。そこで、身近にある社会福祉・保健医療制度とは何かを考えるように努めていただき、参加意識を持って講義に臨んでください。				

開設科目名	公衆衛生学	科目コード	BSNFN110	開設期	1年後期
単位数（履修区分）	1単位（必修）	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	井手悠一郎	担当者	井手悠一郎		
授業の概要（授業の目的）					
<p>公衆衛生とは、病める個人も含めた社会で生活するすべての人々を対象とした、社会的な制度であり、学問であり、実践である。公衆衛生の基本内容等について理解する。予防医学に関心を持ち、将来、専門職として活動するための基礎的な知識・態度を体得する。</p>					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
公衆衛生に関わる知識を理解し、修得している。				3 看護実践知識	
自ら学習する態度を身につける。				14 看護学発展への主体的探求姿勢	
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	公衆衛生とは、健康の指標	講義	井手	第1、3章を読んでおく、授業内容の復習	2時間
2	生活習慣病、健康教育とヘルスプロモーション	講義	井手	第11、13章を読んでおく、授業内容の復習	4時間
3	医療・介護の保障制度	講義	井手	第7章を読んでおく、授業内容の復習	4時間
4	精神保健福祉、難病対策	講義	井手	第14、12章を読んでおく、授業内容の復習	4時間
5	感染症とその予防	講義	井手	第4章を読んでおく、授業内容の復習	4時間
6	母子保健、学校保健	講義	井手	第9、10章を読んでおく、授業内容の復習	4時間
7	食品保健と栄養、生活環境の保全、地域保健活動	講義	井手	第5、6、8章を読んでおく、授業内容の復習	4時間
8	産業保健、疫学	講義	井手	第15、2章を読んでおく、授業内容の復習	4時間
成績評価方法・基準	<p>①各回の小レポートの提出（1～8回の授業内容について毎回まとめ、WebClassへ提出してください）50%</p> <p>②筆記試験 50%（後期試験期間中に実施します、持込は不可です）</p>				
課題に対するフィードバック	<p>試験後、筆記試験の模範解答はWebClass（専門基礎分野（全学年））に掲載します。</p> <p>なお昨年度の試験問題の模範解答についても併せてWebClassに掲載していますので、併せて参照してください。（同じ問題は出題しませんので、問われたポイントの確認という視点で確認してください。）</p>				
教科書	ヌーヴェルヒロカワ『わかりやすい公衆衛生学』				
参考書・参考文献	厚生統計教会『国民衛生の動向』				
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他	<p>連絡先 井手悠一郎（6号館2階 井手悠一郎研究室）、オフィスアワー：火曜16:00～17:00</p> <p>※上記時間帯以外に訪問したい場合は事前予約をしてください。</p> <p>メール等での質問も可です。（アドレスについてはOffice 365を参照してください）</p> <p>ICTの活用：復習レポートにおいては、1～8回の授業内容についての復習ノートを作成し、Office Lens等で撮影を行った上で、WebClass（専門基礎分野（全学年））へ提出してください（提出可能形式：.doc、.pdfのみ）</p> <p>また提出してもらった小レポートは、今年度以降もコースに残す予定です。授業終了後も必要に応じ、提出物の参照等をおこなってください。</p> <p>昨年度の単位認定試験の模範解答を掲載します。学習の際に参照し、授業内容理解に役立ててください。</p>				

開設科目名	看護学総論	科目コード	BSNFN111	開設期	1年 前期
単位数 (履修区分)	2 単位 (必修)	時間数	30 時間	授業区分	講義
責任者	崎田 マユミ	担当者	日高 艶子、鶴田明美、崎田 マユミ		
授業の概要 (授業の目的)					
看護を実践するための基礎を学ぶ。具体的には、看護の歴史・主要概念、理論・倫理を通して、看護の本質を理解し、看護専門職としての自己の看護観を発展させていくための基礎的事項を学習する。また、保健・医療・福祉のシステム、看護と法律、看護におけるグローバル思考、ケアリング、エビデンスに基づいた看護実践について学び、看護専門職意識について学習する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1.看護の歴史を理解し、これからの看護の展望について考えることができる。			◎3.看護実践知識		
2.看護実践に必要な概念について説明できる(人、健康、環境、看護)。			4.論理的・科学的・問題発見力		
3.看護理論の概要と看護実践への活用について考えることができる。			5.問題解決判断力		
4.保健・医療・福祉のシステムと看護活動について述べるができる。			9.科学的根拠に基づく看護		
5.看護倫理と法及び看護職の基本的責任について述べるができる。			10.ケアリングの実践		
6.看護の本質について考えることができる。			11.多様な価値を尊重する姿勢		
7.看護専門職意識について述べるができる。					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	今日の看護：看護の現在・過去・未来	講義	崎田	教科書①(序章 p12-13、第 1 章 18-50)を読んでおく。	3 時間
2	看護の対象：統合体としての人間	講義	鶴田	教科書①(第 2 章 p58-72)を読んでおく。	3 時間
3	健康：健康の定義、健康レベル、WHO の活動	講義	鶴田	教科書①(第 3 章 p80-88)を読んでおく。	3 時間
4	健康：成長・発達、ライフサイクルと健康	講義	鶴田	教科書①(第 4 章 p92-101)を読んでおく。	3 時間
5	環境：環境の構成要素と健康	講義	崎田	講義資料を配布。	2 時間
6	看護とは、看護の役割	講義	崎田	教科書①(第 5 章 p104-120、第 7 章 146-156)を読んでおく。	3 時間
7	看護の定義とモデルの発達：看護理論の概要と看護実践への活用	講義	崎田	〃	3 時間
8	看護過程、看護実践、看護記録	講義	鶴田	教科書①(第 8 章 p162-167)を読んでおく。	3 時間
9	クリティカルシンキング：科学的思考、問題解決能力、看護実践能力	講義	鶴田	〃	
10	保健・医療・福祉提供システム：チーム医療、地域密着型看護	講義	崎田	教科書①(第 10 章 p196-218、第 11 章 p222-227)を読んでおく。	2 時間
11	看護倫理：多様な価値観と倫理調整	講義	崎田	教科書①(第 6 章 p126-143)を読んでおく。	3 時間
12	看護と制度・法律・政策	講義	崎田	教科書①(第 9 章 170-192、第 10 章 p196-218)を読んでおく。	3 時間
13	看護専門職とグローバル思考	講義	日高	講義資料を配布。	2 時間
14	看護実践におけるケアリング	講義	日高	講義資料を配布。	2 時間
15	看護専門職と根拠に基づく実践	講義	日高	講義資料を配布。	2 時間
成績評価方法・基準	① 定期試験 80% ② レポート 20% 健康の分野(鶴田)、看護の分野(崎田) 取組時間はそれぞれ約 10 時間程度です。 レポート課題は 2 つのテーマを講義開始時に提示します。指定された方法でレポートにまとめ提出してください。				
課題に対するフィードバック	・課題レポートは後日コメントを付し返却します。				
教科書	① 志自岐康子編：ナースング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論 (第 6 版) メディカ出版 ② ナイチンゲール：看護覚え書 Notes on Nursing : What it is, and what it is not. 現代社。 ③ ヘンダーソン：看護の基本となるもの。日本看護協会出版会。 * 厚生労働統計協会『国民衛生の動向 2019/2020』厚生労働協会				
参考書・参考文献	特になし				
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他	オフィスアワー：崎田マユミ (7 号館 3 階 733 号室) ; 火曜 16 : 30~17 : 30 ※上記時間以外は事前に予約をしてください。メールアドレス : sakita@stmaryacjp.onmicrosoft.com * ICT の活用：講義終了後に WebClass の問題で学修することができます。復習に活用してください。 看護実践に必要な基礎的知識を学ぶ科目です。自己の看護観と今後の看護が取り組むべき課題について考えてみましょう。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	臨床看護学概論	科目コード	BSNFN112	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	鶴田明美	担当者	日高艶子、崎田マコミ、鶴田明美		
授業の概要(授業の目的)					
成人期の人々の特徴と発達課題及び健康課題並びに看護に必要な概念・理論について理解し、成人期の人への看護について学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 成人期の人の特徴と成長と発達に影響を及ぼす環境を理解し健康について述べるができる。			◎3.看護実践知識		
2. 成人期の人々の健康障害の段階とその特徴および段階に応じた看護について述べるができる。			◎4. 論理的・科学的問題発見力		
3. 成人期の人々の看護に活用できる概念や理論について説明できる。			◎5. 問題解決判断力		
4. 成人期の人々の発達課題や健康課題の特徴をふまえた看護について考察できる。			9. 科学的根拠に基づく看護 11.多様な価値を尊重する姿勢		
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	成人期の特徴と成人を取り巻く社会環境 成人期の人々の健康とその動向	講義	鶴田	教科書 p2--59を読んでおく。 教科書 p62-77を読んでおく。	4時間
2	成人期の人々の保健・医療・福祉と健康課題	講義	崎田	教科書 p78-90を読んでおく。	3時間
3	成人期の人々の健康状態の特徴と看護	講義	鶴田	教科書 p200-258を読んでおく。	3時間
4	成人期の人への看護における倫理と看護者の役割	講義	鶴田	教科書 p260-281,p288-290を読んでおく。	4時間
5	成人期の人々の健康再構築への支援	講義	崎田	教科書 p238-248を読んでおく。 講義資料を配布。	4時間
6	成人期の人への看護に必要な概念・理論(1)	講義	日高	講義資料を配布。	4時間
7	成人期の人への看護に必要な概念・理論(2)	講義	日高	講義資料を配布。	4時間
8	成人期の人への看護に必要な概念・理論(3)	講義	日高	講義資料を配布。	4時間
成績評価方法・基準	定期試験 100% (規定の授業出席日数を満たさない場合は定期試験受験資格を認めない)				
課題に対するフィードバック	担当教員から課題が課された場合は、後日コメントを付し返却する。				
教科書	林直子他編：成人看護学 成人看護学概論(改訂第3版) 社会に生き世代をつなぐ成人の健康を支える, 南江堂, 2019.				
参考書・参考文献	特になし				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	<p>・オフィスアワー：鶴田明美(2号館1階223号室) 火曜 16:00~17:00 事前連絡をしてください。 E-mail:tsuruta@stmaryacjp.onmicosoft.com</p> <p>・メッセージ：成人期にある人への看護実践に必要な基礎的知識を修得する科目です。社会情勢や健康問題に関心を寄せ必要な看護について思考しましょう。</p> <p>・その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です</p>				

開設科目名	臨床看護理論学	科目コード	BSNFN113	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	日高艶子	担当者	日高艶子、宮林郁子、小浜さつき		
授業の概要(授業の目的)					
看護理論や看護モデルの発展は、看護の必須要素を明らかにし、専門職としての看護の知識を開発し、臨床看護実践の方向性を示した。本講義においては、人間の基本的生命・生活過程における適応について、S.C.ROYによるROY ADAPTATION MODELを基に、看護活動の論理的基盤となるケアリング実践理論の構造と機能を学ぶと共に、ベナー、ペプロー、オレム、ヘンダーソンの理論について、概念、定義、理論上の主張を学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 看護学生は何故看護理論を学ぶのかについて述べる事が出来る。 2. ROI適応看護モデルを通して、看護の専門家としての知識と態度の基盤となるものを述べる事が出来る。 3. ROI適応看護モデルの構成要素を説明できる。 4. ROI適応看護モデルの看護過程の構成要素について述べる事が出来る。 5. ベナー、ペプロー、オレム、ヘンダーソンの中から一人の理論家を選択し、理論の概念、定義について報告する。			3. 看護実践知識、4. 論理的・科学的問題発見力		
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	看護理論と臨床看護の発展	講義	宮林	教科書③の第I部を予習すること。	4時間
2	ベナー理論の理解	講義	宮林	教科書② 学習内容を復習すること。	4時間
3	ROI適応看護モデルの概要—構成要素1	講義	日高	教科書①第2章ROI適応モデルの構成要素を読んで予習すること。学習内容を復習すること。	4時間
4	ROI適応看護モデルの概要—構成要素2	講義	日高	教科書①第2章ROI適応モデルの構成要素を読んで予習すること。学習内容を復習すること。	4時間
5	ROI適応看護モデルの概要—ROI適応看護モデルの看護過程1	講義	日高	教科書①第3章ROI適応看護モデルの看護過程を読んで予習すること。学習内容を復習すること。	4時間
6	ROI適応看護モデルの概要—ROI適応看護モデルの看護過程2 Case study	講義	日高	教科書①第3章ROI適応看護モデルの看護過程を読んで予習すること。学習内容を復習すること。	4時間
7	主な看護理論1： プレゼンテーション・ディスカッション	GW	日高 小浜	担当する理論家の、主要概念(人間・健康・環境・看護)について調べるレポート課題に取り組む。課題の具体的内容は、講義において指示します。	8時間
8	主な看護理論2： プレゼンテーション・ディスカッション				
成績評価方法・基準	課題レポート10%、定期試験90%				
課題に対するフィードバック	課題レポートについては、後日返却します。				
教科書	ROI適応看護モデル 第2版、医学書院 ベナー論 医学書院 看護理論家の業績と理論評価 医学書院				
参考書・参考文献	特になし				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	日高艶子(7号館3階、L731研究室)、オフィスアワー：金曜日 16:00-17:00 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	コミュニケーション演習	科目コード	BSNFN114	開設期	1年前期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	演習
責任者	石本祥子	担当者	全教員		
授業の概要(授業の目的)					
コミュニケーションは看護学のコアコンピテンシーの一つである。本演習では、入院中の患者や入所中の利用者、スタッフとのコミュニケーションを図り、コミュニケーションの基礎について学修し、これから学修するケアリングや専門的な看護学領域への動機づけを高める。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) コミュニケーションの意義について理解できる。				3 看護実践知識	
2) コミュニケーションの具体的な方法を理解できる。				6 コミュニケーションスキル	
3) 病棟においてスタッフや患者と会話することができる。				8 看護実践技術	
4) 今後の看護の学修に興味や関心をもつことができる					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	オリエンテーション	実技	石本	教科書(p18-29)を読み、意義を確認する。	4時間
2	グループでの演習の事前準備	GW	全員	演習する施設についての情報収集や必要となるコミュニケーション技法についてグループで学習する。	4時間
3	病棟や施設での演習	実技	全員	医療スタッフや患者と積極的に会話し、コミュニケーションについて学ぶ。	10時間
4		実技	全員		
5		実技	全員		
6	グループディスカッション	GW	全員	病棟や施設で学んだコミュニケーションについてグループで振り返り、学びを共有する。また、自身のコミュニケーションについての課題を明らかにする。	6時間
7		討論	全員		
8	まとめ	討論 発表	全員	病棟や施設での演習やグループディスカッションで学んだことについて、プレゼンテーションを行う。さらに、本演習で学んだことについて、各自レポートを作成する。	6時間
成績評価方法・基準	①病棟や施設演習の参加度、態度 50% ②グループディスカッションの参加度 20% ③課題レポート 30%				
課題に対するフィードバック	提出された課題レポートはコメントをつけて返却します。				
教科書	志自岐 康子 他編集:ナースング・グラフィカ基礎看護学③基礎看護技術 第6版,2017.				
参考書・参考文献	渡部富栄訳:看護のコミュニケーション(第5版),エルゼビアジャパン,2007.				
オフィス 学習相談 メッセージ その他	演習全般に関するお問い合わせは 石本祥子にご連絡下さい。オフィスアワー:水曜 12:10~13:10。 各演習病棟での学習に関するお問い合わせは、演習担当教員にご連絡下さい。 演習担当教員は、オリエンテーションの際にお知らせします。 この科目は、実際に病院や施設に出て患者さんとふれあいます。今後の学内の学習への意欲や関心が高まると期待されるので、積極的に対象者と関わり、コミュニケーションを学びましょう。 その他:この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。				

開設科目名	臨床基礎技術論 I	科目コード	BSNNCP101	開設期	1 年後期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	石本祥子	担当者	石本祥子、小浜さつき、秦朝子、谷口あけみ、赤坂天貴子、松野史、他		
授業の概要 (授業の目的)					
看護における観察の意義を理解し、バイタルサインの観察に必要な基本的知識・技術・態度について学習する。また看護実践に必要な不可欠となるコミュニケーションや感染防止等の基礎知識についても学ぶ。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 看護における観察の意義を述べることができる。				3.看護実践知識	
2) 体温、脈拍、血圧、呼吸の観察の目的、方法、原則を説明することができる。				6.コミュニケーションスキル	
3) 感染防止の技術や活動・休息の援助技術を説明することができる。				8.看護実践技術	
4) 看護におけるコミュニケーションの原則について述べるができる。					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ガイダンス、コミュニケーション	講義	石本	教科書① (p14-40) を読んでおく。 関連ページのメディカ AR 動画を視聴しておく。 教科書② (p53-77) を読んでおく。	3 時間
2	感染防止の技術	講義	秦	教科書① (p108-136) を読んでおく。 関連ページのメディカ AR 動画を視聴しておく。	4 時間
3	活動・休息の技術 (ボディメカニクス、体位、移動 等)	講義	小浜	教科書① (p152-164、192-218) を読んでおく。 関連ページのメディカ AR 動画を視聴しておく。	3 時間
4	ヘルスアセスメント、バイタルサイン	講義	石本	教科書① (p64-83) を読んでおく。 関連ページのメディカ AR 動画を視聴しておく。 教科書② (p118-127) を読んでおく。	4 時間
5	体温	講義	谷口	教科書① (p76-79、340-343) を読んでおく。 関連ページのメディカ AR 動画を視聴しておく。 教科書② (p126-127) を読んでおく。	4 時間
6	呼吸、意識	講義	小浜	教科書① (p65-70、p78-79) を読んでおく。 教科書② (p126、141、153、741) を読んでおく。	4 時間
7	脈拍	講義	松野	教科書① (p71-72,79) を読んでおく。 関連ページのメディカ AR 動画を視聴しておく。 教科書② (p126、343-345) を読んでおく。	4 時間
8	血圧	講義	赤坂	教科書① (p72-75,80) を読んでおく。 関連ページのメディカ AR 動画を視聴しておく。 教科書② (p119-125,345,364) を読んでおく。	4 時間
成績評価方法・基準	①定期試験 80% ②小テスト 20%				
課題に対するフィードバック	定期試験及び小テストの結果は webclass にて解答を示します。				
教科書	①志自岐 康子 他編集:ナーシング・グラフィック基礎看護学③基礎看護技術 第 6 版,2017. ②Lynn S.Bickley 他著,福井次矢他監修:ペイト診察法 第 2 版.メディカル・サイエンス・インターナショナル,2015.				
参考書・参考文献	「看護がみえる」シリーズ				
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他	石本祥子 (2 号館 1 階 224 研究室) オフィスアワー : 水曜 12:10~13:10 上記時間帯以外に訪室したい場合は事前予約をしてください。メールアドレス : ishimoto @stmaryacjp.onmicrosoft.com ICT の活用 : 講義終了後 webclass での小テストを実施します。詳細については、後日説明します。 教科書に記載してある「メディカ AR」アプリを使用します。スマートフォンやタブレット端末にアプリをインストールしておきましょう。 その他 : この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	スキルラボ基礎レベル 1	科目コード	BSNNCP102	開設期	1 年後期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	15 時間	授業区分	演習
責任者	石本祥子	担当者	石本祥子、小浜さつき、秦朝子、谷口あけみ、赤坂天貴子、松野史、他		
授業の概要 (授業の目的)					
臨床基礎技術論 I で学習した血圧、脈拍、呼吸、体温の測定技術を修得する。また、Basic life support (BLS 一次救命措置) の技術等についても学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 血圧、脈拍、呼吸、体温を正確に測定することができる。			6.コミュニケーションスキル 8.看護実践技術 9.科学的根拠に基づく看護		
2) Basic life support (BLS 一次救命処置) を実施することができる。					
3) 標準予防策 (スタンダードプリコーション) を実施することができる。					
4) 活動・休息の援助技術を実践することができる。					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ガイダンス、コミュニケーション	実技 討論	石本 他	臨床基礎技術論 I (コミュニケーション)の復習、演習後の練習	4 時間
2	活動・休息の技術 (体位変換、車いす移動 等)	実技	小浜 他	臨床基礎技術論 I (活動・休息の技術)の復習、演習後の練習	5 時間
3	意識レベルの評価、体温測定、呼吸測定	実技	谷口 他	臨床基礎技術論 I (意識レベルの評価、体温測定、呼吸測定)の復習、演習後の練習	4 時間
4	脈拍測定	実技	松野 他	臨床基礎技術論 I (脈拍測定)の復習、演習後の練習	4 時間
5	血圧測定	実技	赤坂 他	臨床基礎技術論 I (血圧測定)の復習、演習後の練習	4 時間
6	血圧・脈拍・呼吸・体温測定	実技	石本 秦 他	演習内容の復習、授業外ラボ等で繰り返し練習する	5 時間
7	感染防止の技術 (衛生的手洗い)				
8	救急蘇生法	実技	秦 他	教科書① (p450-464) を読んで演習に参加する	4 時間
成績評価方法・基準					
成績評価方法・基準		技術試験 100%			
課題に対するフィードバック					
課題に対するフィードバック		* 技術試験の結果については試験当日フィードバックします。不合格の方には後日再試験を行います。			
教科書					
教科書		①志白岐 康子 他編集:ナーシング・グラフィカ基礎看護学③基礎看護技術 第 6 版,2017. ②Lynn S.Bickley 他著,福井次矢他監修:ペイツ診察法 第 2 版.メディカル・サイエンス・インターナショナル,2015.			
参考書・参考文献					
参考書・参考文献		「看護がみえる」シリーズ			
ワイアー 学習相談 メッセージ その他					
ワイアー 学習相談 メッセージ その他		石本祥子 (2 号館 1 階 224 研究室) オフィスアワー : 水曜 12:10~13:10 上記時間帯以外に訪談したい場合は事前予約をしてください。メールアドレス : ishimoto@stmaryacjp.onmicrosoft.com 本科目は、授業時間以外にも技術を習得するための授業外スキルラボを開講します。積極的に参加しましょう。 ICT の活用 : 授業外ラボへの参加は、webclass での申し込みが必要です。詳細については、ガイダンスで説明します。 臨床基礎技術論 I と同様に教科書にある「メディカ AR」アプリを活用し、技術の予習や復習をしてください。 その他 : この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。			

開設科目名	コミュニティ演習	科目コード	BSNANS101	開設期	1年前期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	演習
責任者	谷多江子	担当者	大城知恵、他看護系教員		
授業の概要(授業の目的)					
<p>数名のグループで地域の各施設における看護職者や利用者とのふれあいを通して、看護師が地域社会の様々な場において人々の健康に携わっていることを学び視野を広げると共に、専門職としてどのような役割が期待されているのか、専門職としての知識や技術をどのように活かしているのか、考察する。</p>					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 看護の対象となる人々について理解できる。			◎ 2 豊かな人間性の基礎 11 多様な価値を尊重する姿勢		
2) 看護師が人々の健康に携わる様々な場について理解できる。			◎ 11 多様な価値を尊重する姿勢 13 地域国際社会への貢献		
3) 様々な場において看護師が専門職として期待されている役割について考えることができる。			4 論理的・科学的問題発見力 5 問題解決判断力 ◎ 12 他職種協調リーダーシップ 14 看護学発展への主体的探求姿勢		
4) 様々な場において看護師が専門職としての知識や技術をどのように活かしているのか考えることができる。			4 論理的・科学的問題発見力 5 問題解決判断力 ◎ 14 看護学発展への主体的探求姿勢		
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	オリエンテーション、グループ配置、見学する施設について調査する	演習 準備	谷	見学する施設について各自調査し、まとめておく。	4時間
2	施設見学・演習 (若楠療育園、聖ヨゼフ園、ゆかり学園、 筑後いづみ園、メゾンマリア、久留米特別支援学校、 ウェルフェアマリアより1施設)	学外 演習	全員	施設において看護師が専門職として期待されている役割、看護師が専門職としての知識や技術をどのように活かしているのか、など見学して学んだ事と、見学して生じた疑問について調査したこと、を各自まとめ、提出する。	6時間
3					
4					
5	プレゼンテーションの準備①振り返り	GW	全員	見学して学んだ事をグループで共有する。	6時間
6	プレゼンテーションの準備②資料作成	GW	全員	見学した内容についてグループでまとめる。	6時間
7	プレゼンテーション① 発表	発表	全員	他のグループが見学した施設について調査する。	4時間
8	プレゼンテーション② まとめ	発表	全員	各グループの発表内容について考察する。	4時間
成績評価方法・基準	①施設における態度 40% ②レポート(見学した施設での学びについて) 30% ③グループワーク・プレゼンテーションの参加度 30%				
課題に対するフィードバック	グループワークや全体の発表の中でフィードバックします。				
教科書	特になし				
参考書・参考文献	特になし				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	各担当教員のオフィスアワーをご確認ください。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				